1 ボデー

1-1 ボデー本体……1－2
ボデー スタイル……1－2
メーン ボデー……1－3
構成部品……1－4
塗装……1－4
1-2 ボデー外装……1－5
外装部品……1－5
機能部品……1－6
1-3 ボデー内装……1－19
運転席パネル……1－19
シート……1－19
トリム & ガーニツシユ……1－21

無断複製禁止

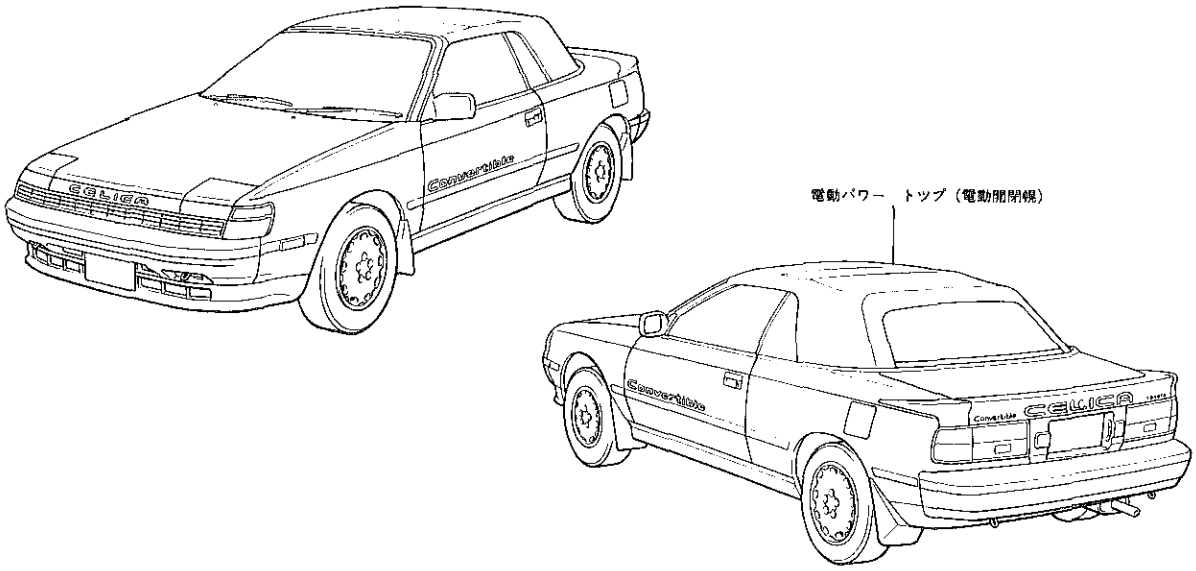
1・1 ボデー本体

■機構説明

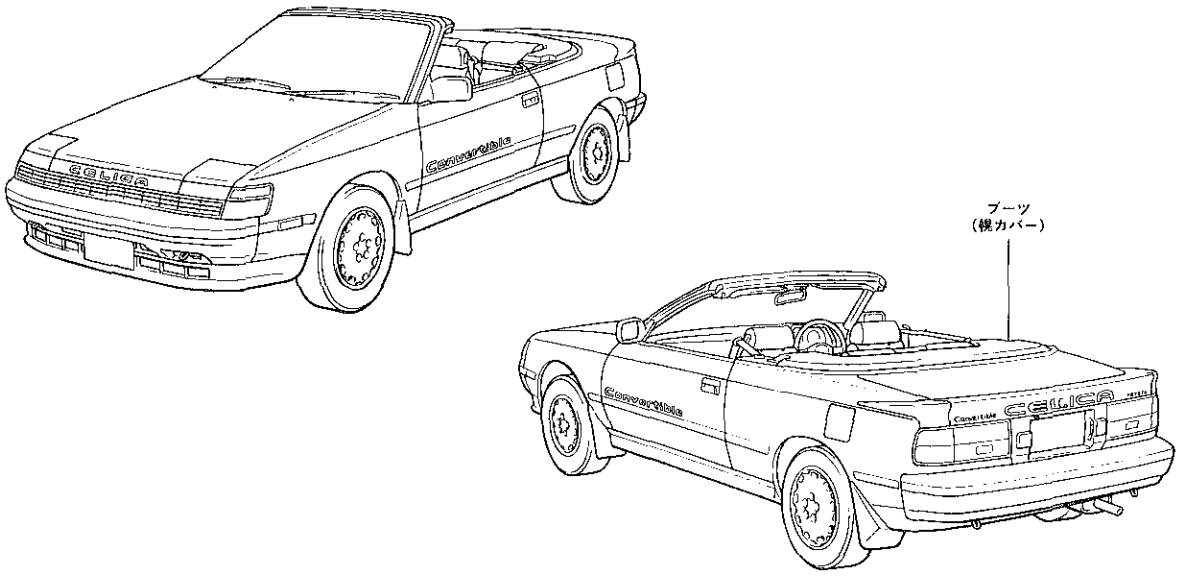
□ボデー　スタイル

1．ボデー外観

●電動で開閉できるトップ（幌）を装着し，オープン　カーとしての開放感を十分に味わえるボデー形状としました。



クーペ　スタイル（幌閉時）



オープン　カー　スタイル（幌開時）

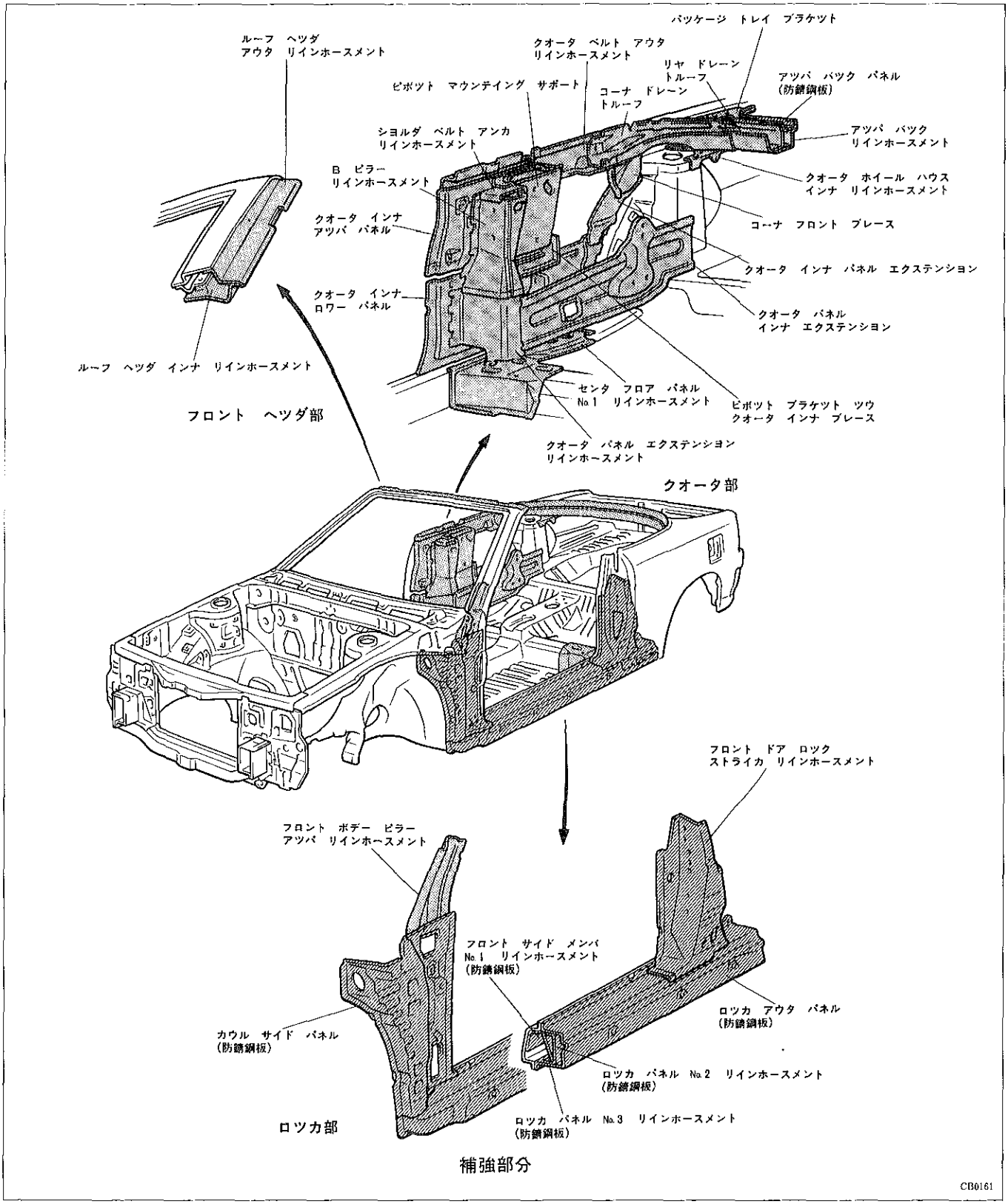
CB0157, CB0158, CB0159, CB0160

無断複製禁止

□メーン　ボデー

1．ボデー　シエル

●リフトバツク車同様，剛性の高いモノコツク構造を採用するとともにリヤ　ボデーはクーペ形状とし，さらに随所にリインホースメントを配置した剛性の高いボデー構造としました。また，各部リインホースメントには防錆鋼板を採用し防錆性能の優れたものとしています。

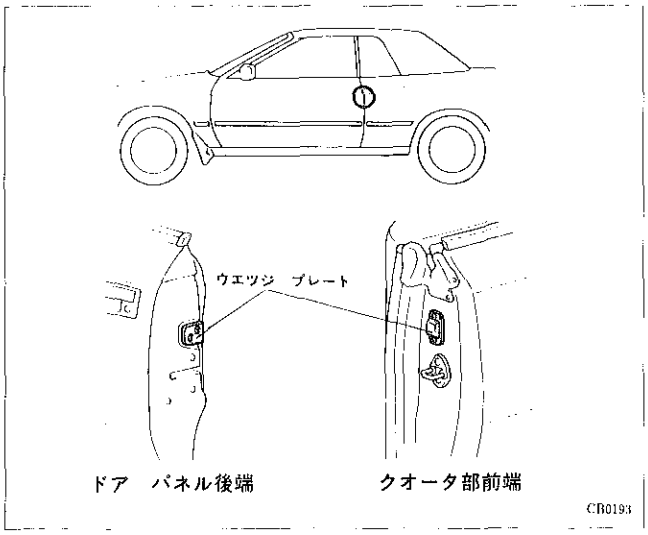


無断複製禁止

□構成部品

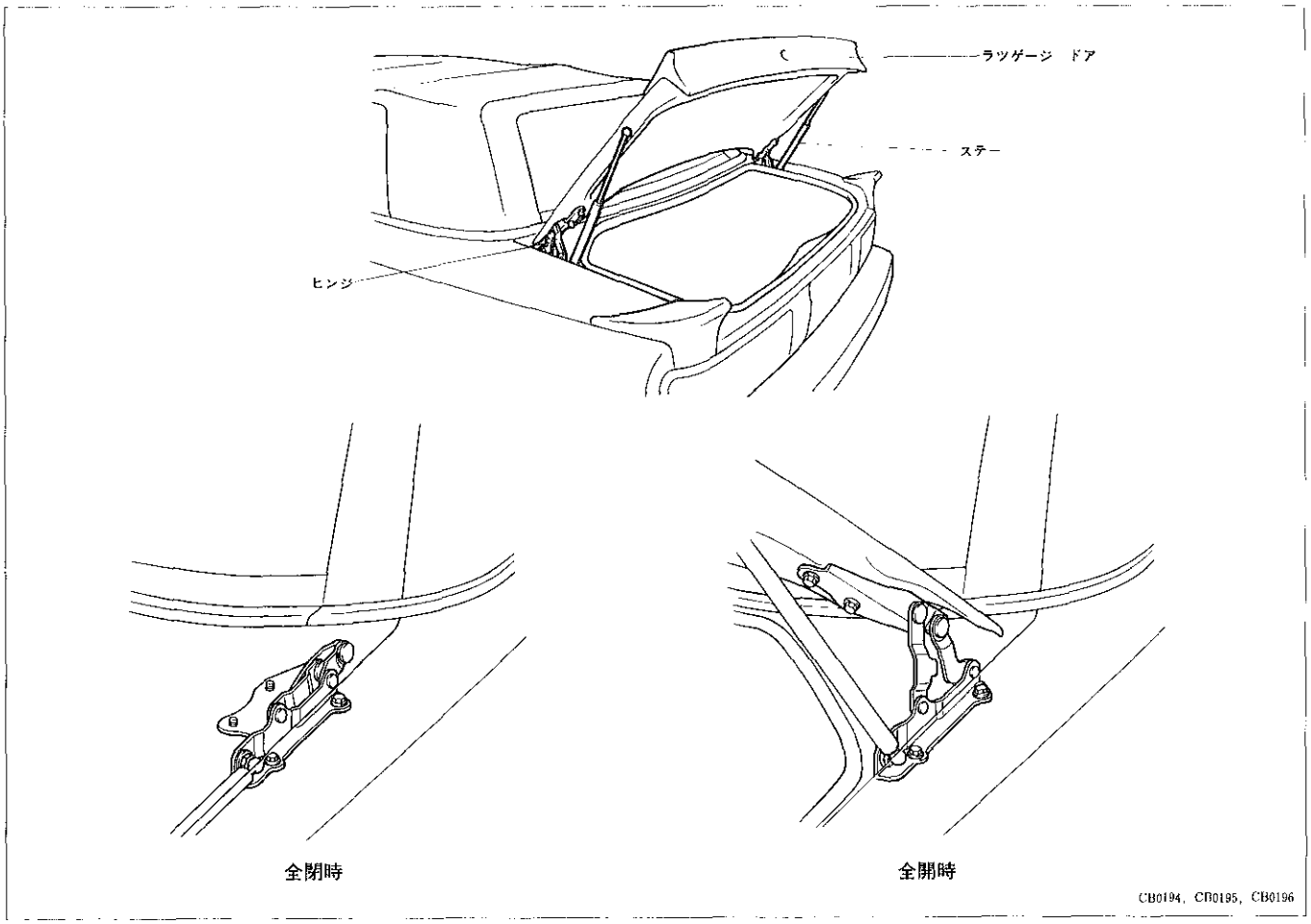
1．フロント　ドア

●ドア　パネル後端およびクオータ部前端にウエツジ　プレートを設定しました。



2．ラツゲージ　コンパートメント　ドア

●開閉システムをラツゲージ　ルーム内ではなくトルーフ上に取り付けることにより，ラツゲージ　ルーム内にヒンジが飛び出さずラツゲージ　ルームを広く利用できる，４リンク　＋　ステー方式を採用しました。



□塗装

1．外板色

●コンバーチブル専用色として，フアツシヨナブルでインパクトのあるブラツク（２０２）を設定するとともに，鮮明なスーパー　ホワイト　II（０４０）およびスーパー　レツド　II（３Ｅ５）を設定しました。

無断複製禁止

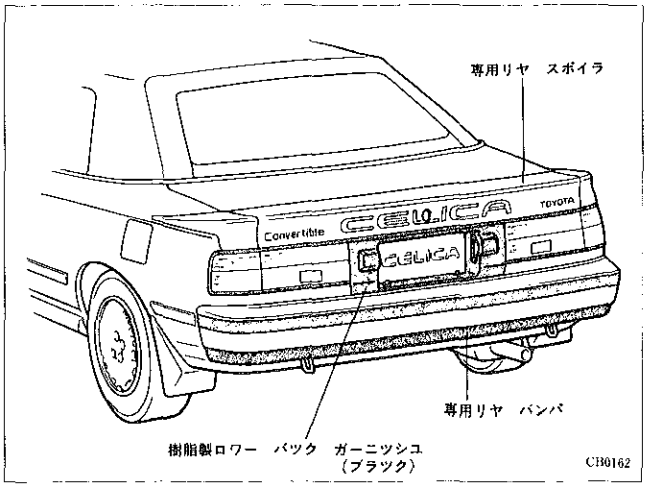
1・2 ボデー外装

■機構説明

□外装部品

1．リヤ回り

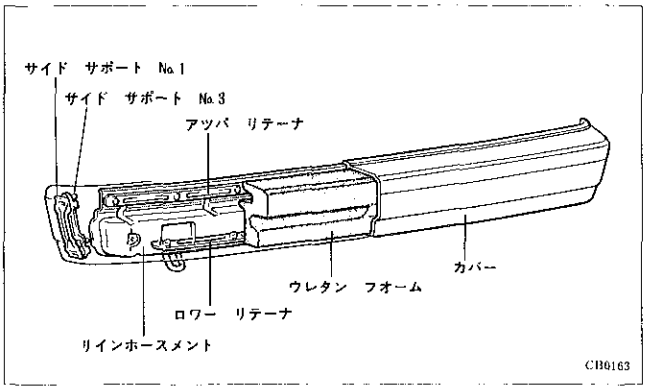
●リヤ　ボデーの変更に伴い，コンバーチブル専用リヤ　バンパおよび樹脂製ロワー　バツク　ガーニツシユを設定しました。また，専用リヤ　スポイラを標準設定し，スポーテイなリヤビユーとしました。



▶構造と作動

【1】リヤ　バンパ

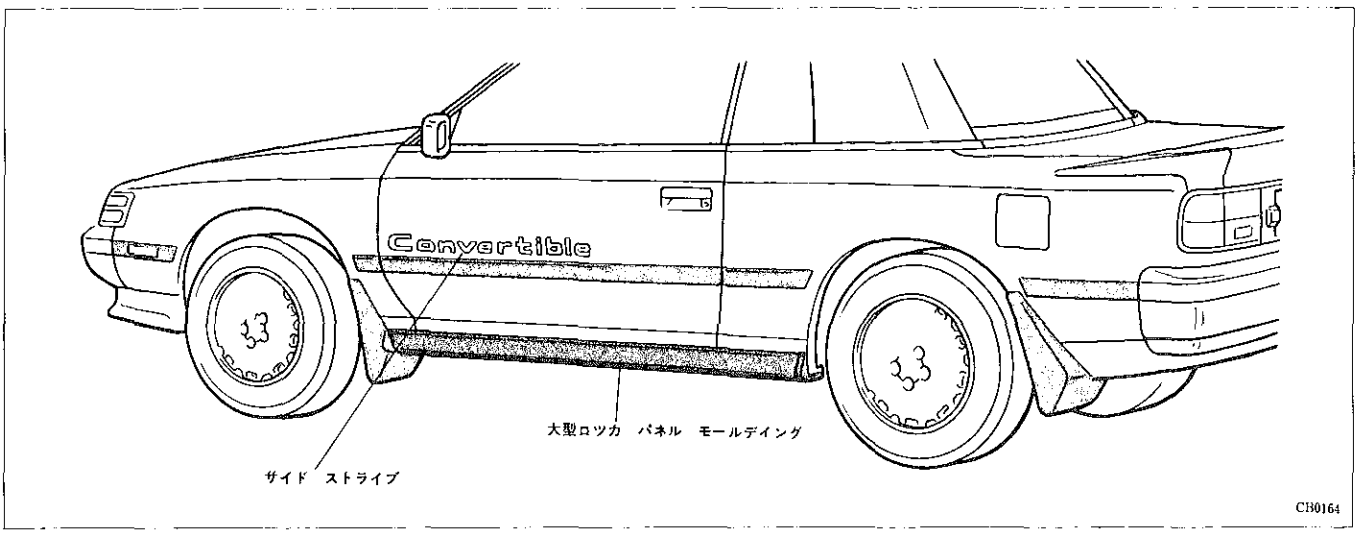
リフトバツク車と同様のカラード　ウレタン　バンパを採用していますが，リヤ　ボデーの変更に伴い専用形状となっています。



2．サイド回り

●耐チツピング性を考慮した大型ロツカ　パネル　モールデイングを採用するとともに専用サイド　ストライプを採用し，スポーテイ感を強調したサイド　ビユーとしました。

●ロツカ　パネル　モールデイングはステンレス鋼に塩ビ　コーテイングで表面処理した防錆性能の高い材質を使用し，ロツカアウタ　パネルを大きく巻き込んだものとしました。

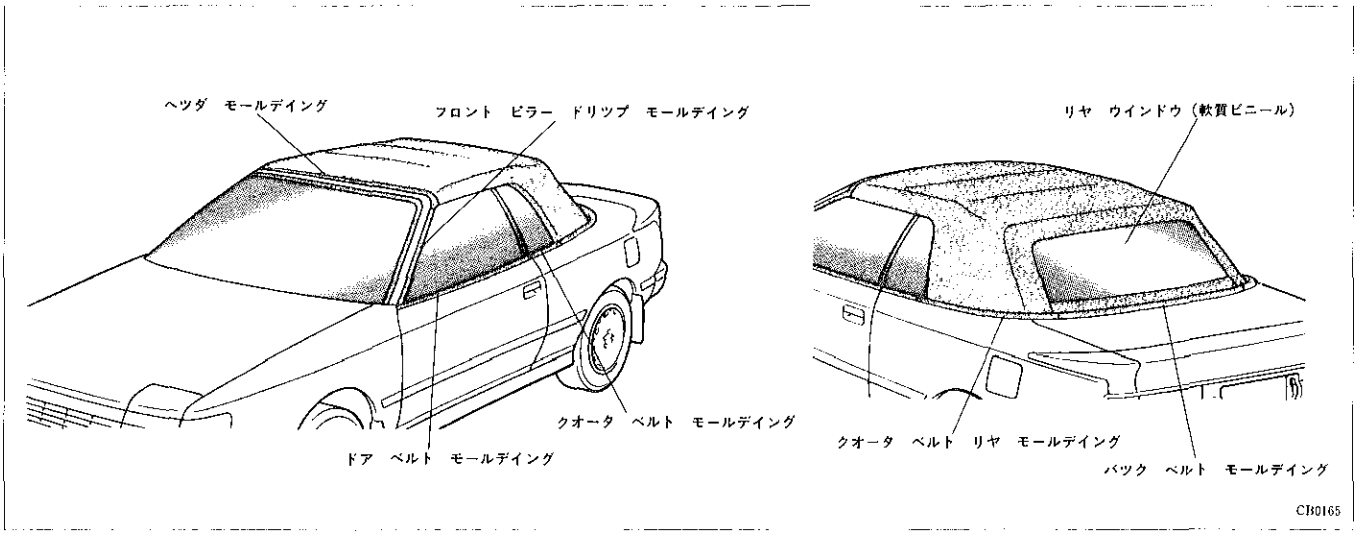


無断複製禁止

3．ルーフ回り

●フロント　ピラー　ドリツプ　モールデイングと連続したヘツダ　モールデイングを採用するとともに，ドア　ベルト　モールデイングと連続したクオータ　ベルト　モールデイングおよびバツク　ウインドウ　モールデイングを採用しました。

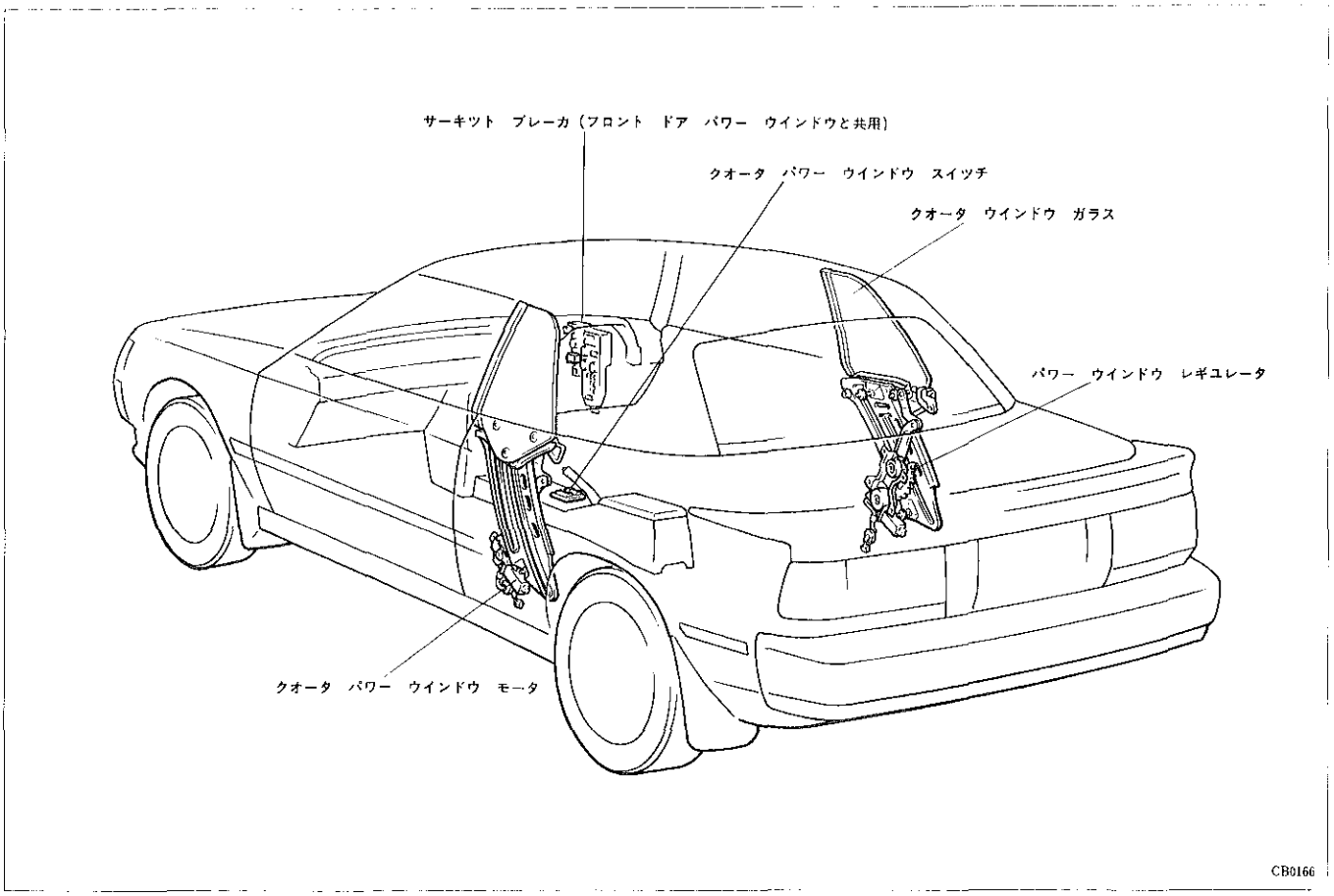
●リヤ　ウインドウに軟質ビニール（厚さ1㎜）を採用しました。



□機能部品

1．クオータ　パワー　ウインドウ

●ウインドウ　ガイドを設けたシングル　アーム式のウインドウ　レギユレータを採用し，フロント　ドア　ウインドウ同様，運転席より容易に開閉できる電動タイプとしました。



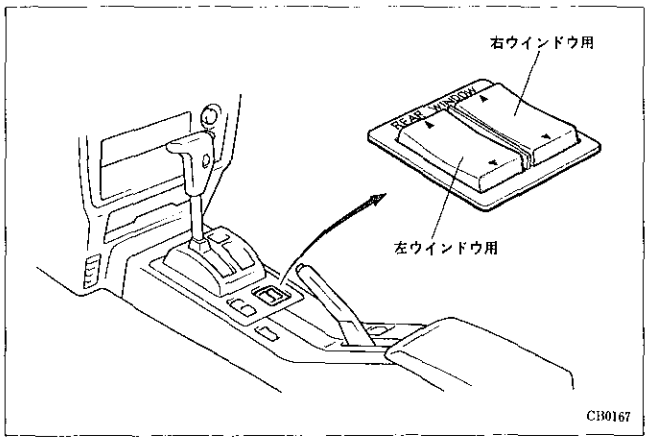
無断複製禁止

▶構造と作動

【1】構造

〔1〕クオータ　パワー　ウインドウ　スイツチ

センタ　コンソール部に設定し，左右ウインドウが独立作動するシーソー式スイツチとしています。



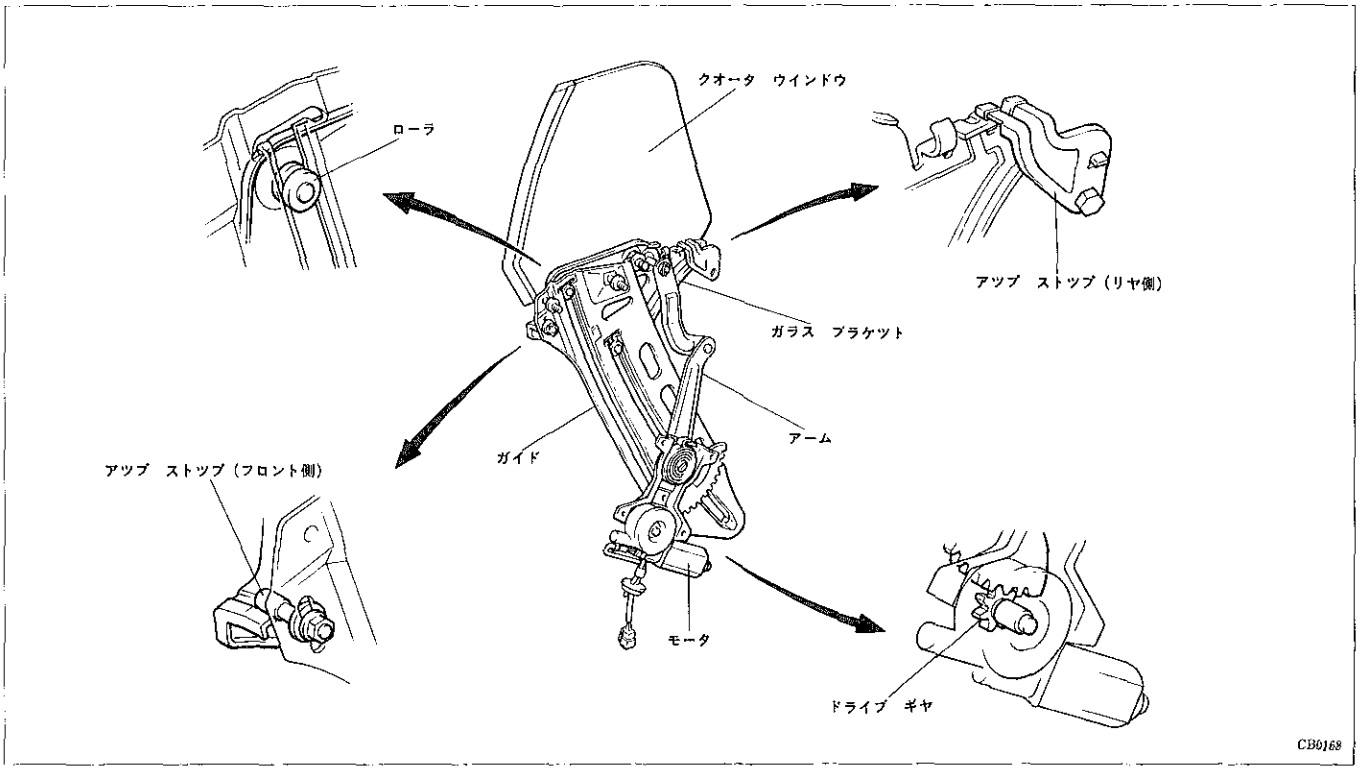
〔2〕クオータ　パワー　ウインドウ　モータ

ドア用パワー　ウインドウ　モータと同様，ブレーカ内蔵タイプとしています。

〔3〕ウインドウ開閉機構

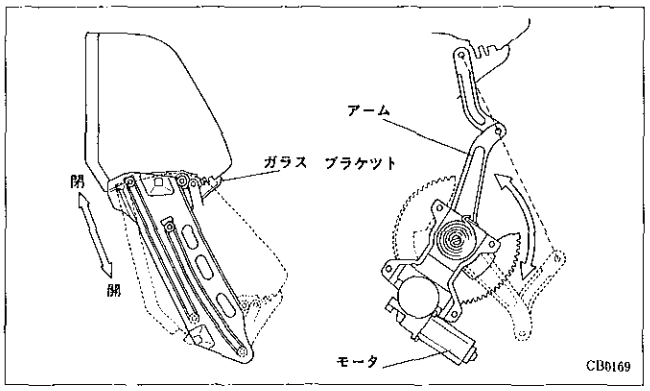
クオータ　ウインドウと一体のガラス　ブラケツトはローラ3個により，ボデーに固定されたガイドに取り付けられており，ガイドの溝に沿って上下に移動します。また，ブラケツト後端にはアームが取り付けられています。

なお，前後にアツプ　ストツプを設けて上昇位置を規制する構造となつています。



【2】作動

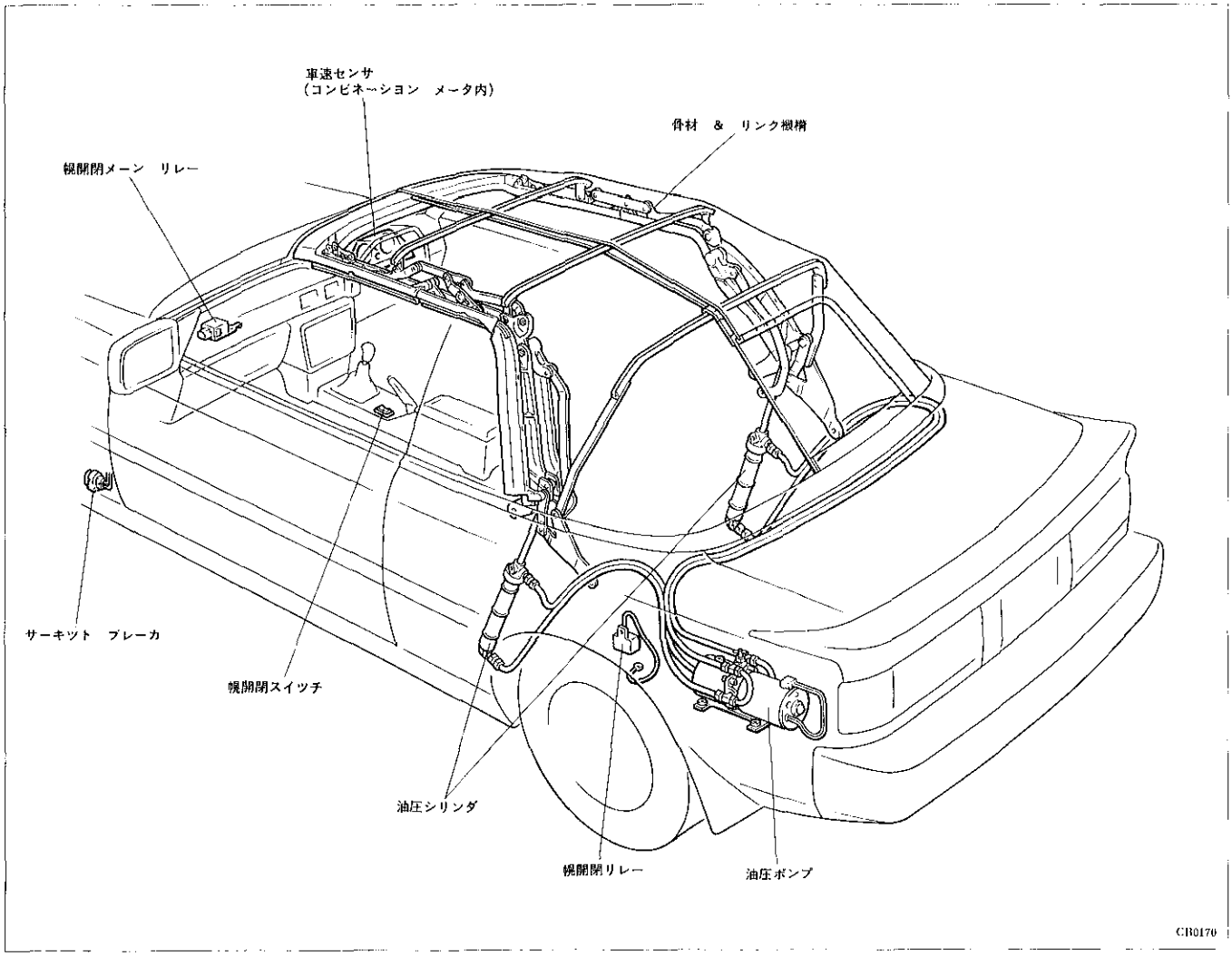
スイツチ操作によりモータが回転するとアームが回転してガラス　ブラケツトが上下に動きます。これによりクオータ　ウインドウも上下に動きます。



無断複製禁止

2．パワー　トップ

- 電動で幌の開閉が行える機構を採用し，容易にフル　オープン状態とすることができます。
- 開閉機構は，幌開閉スイッチを操作すると油圧ポンプが作動して油圧シリンダを動かし，油圧シリンダにより動かされるリンク機構によつて幌の開閉を行います。なお，走行時には幌の開閉が出来ない電気回路を採用しました。
- 幌の表皮には，耐候性，耐水性に優れたキヤンブリアを採用しました。
- 幌開時に容易に装着できるブーツ（幌カバー）を設定しました。
- リヤ　ウインドウ（バツクライト）は幌を取りはずすことなく脱着が可能な構造とし，サービス性の優れたものとしました。

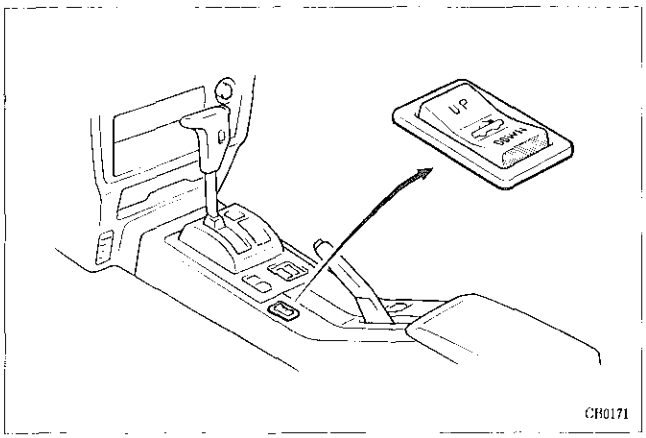


▶構造と作動

【1】構造

〔1〕幌開閉スイツチ

シーソー式スイツチを採用し，センタ　コンソール部に設定しています。



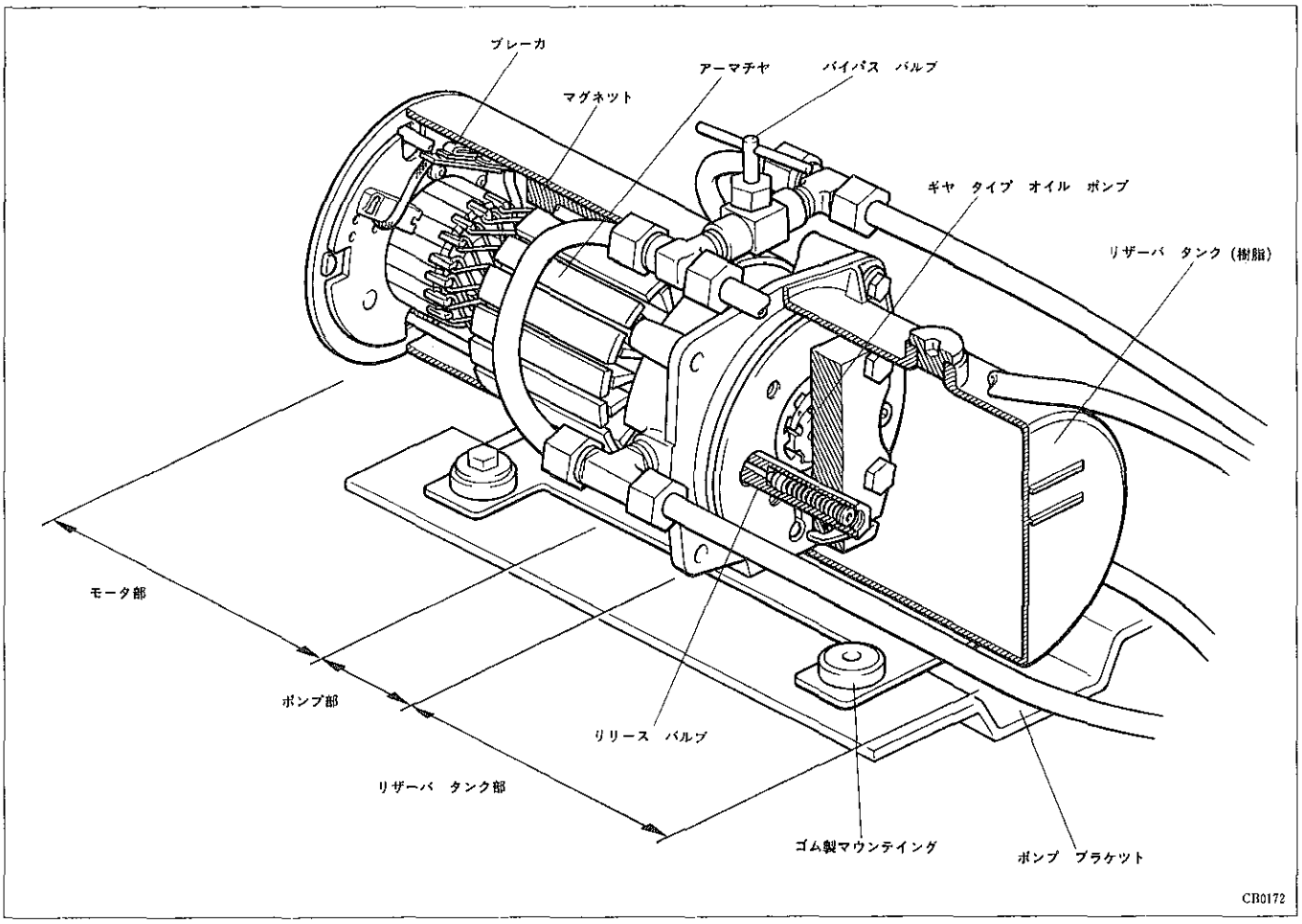
無断複製禁止

〔2〕油圧ポンプ

・ラツゲージ　ルーム左側のポンプ　ブラケツトに，ゴム製マウンテイングを介して取り付けられており，モータ部，ポンプ部，およびリザーバ　タンク部により構成されています。

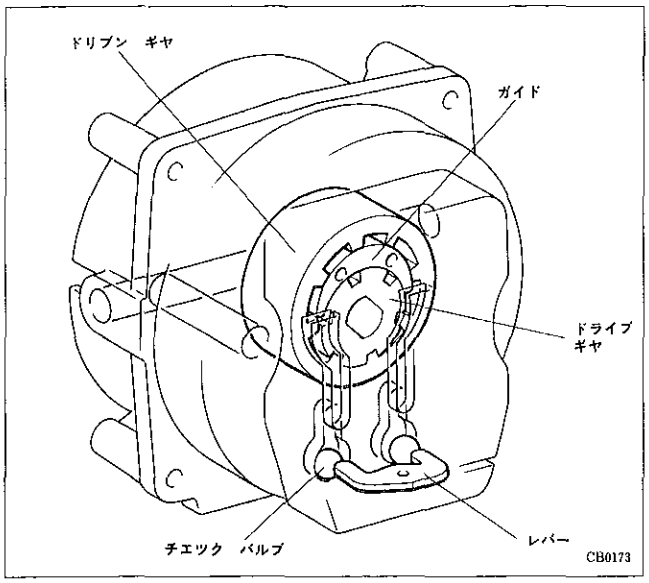
・ポンプにはギヤ　タイプを採用し，モータのシヤフトに直結されたドライブ　ギヤが回転して油圧シリンダにオイルを圧送します。なお，油圧シリンダ縮み側にはリリース　バルブを設定し，ポンプ上部にはバイパス　バルブを設定しています。

・樹脂製リザーバ　タンクを採用し，外部からオイル量の確認が行える構造となつています。



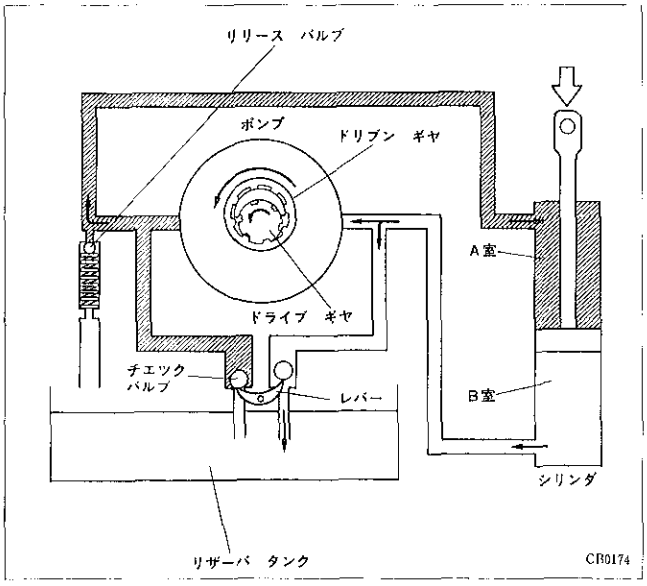
（1）ポンプ部

・ポンプ機構はドライブ　ギヤ，ドリブン　ギヤ，ガイドおよびチエツク　バルブにより構成されています。

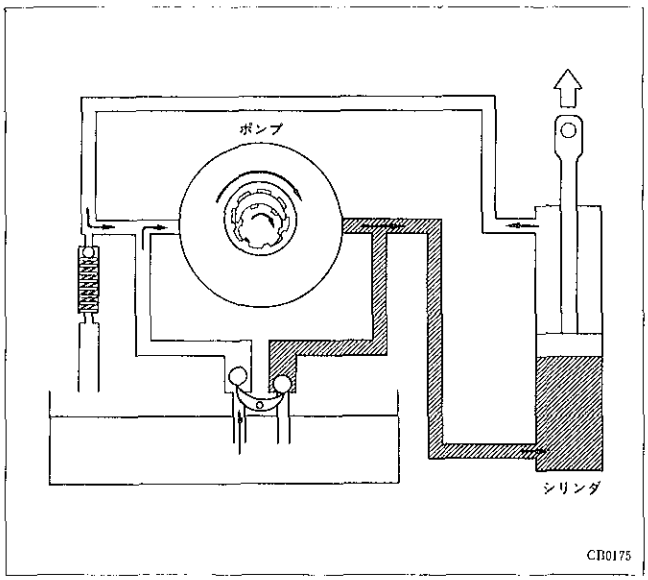


無断複製禁止

・幌開時のポンプの作動は，モータが左回転するとシヤフトと直結しているドライブ　ギヤが左回転し，ドライブ　ギヤと噛み合つているドリブン　ギヤも左回転します。よつて，このときに生じる体積変化によりオイルをシリンダのA室に圧送します。
また，ポンプの両側にチエツク　バルブが設けてあり左側のチエツク　バルブが吐出圧により閉じると右側のチエツク　バルブがレバーにより開き不要なオイルをリザーバタンクへ戻します。（A室の体積＜B室の体積のため）
なお，A室側にはリリース　バルブが設けてあり吐出圧の上昇を規制しています。（リリース　バルブ開弁圧：28.1 kg/cm）

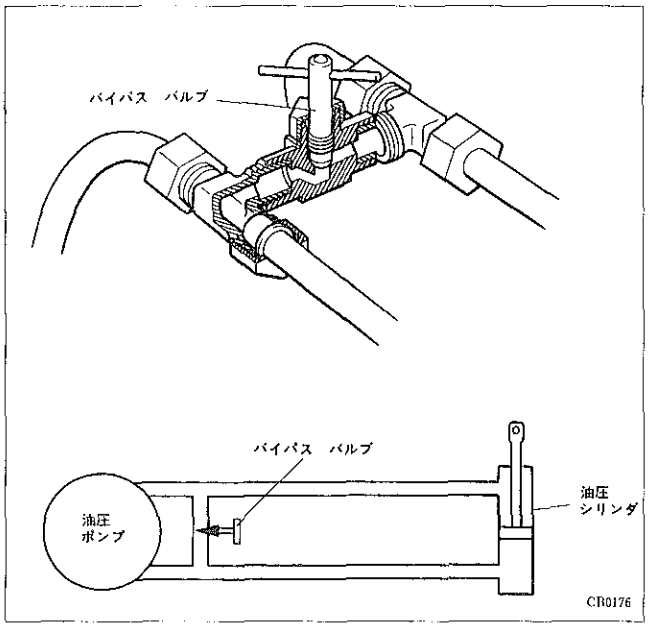


・幌閉時のポンプの作動は，モータが右回転して幌開時と同様にオイルをシリンダのB室に圧送します。
また，右側のチエツク　バルブが閉じて左側のチエツク　バルブが開き，オイルの不足分をリザーバ　タンクより補います。（B室の体積＞A室の体積のため）



（2）バイパス　バルブ

ポンプ上部に取り付けられており，バルブを開くとポンプをバイパスして油圧シリンダのピストン両側を接続します。このため，バルブを開くことにより手動による幌の開閉を可能としています。

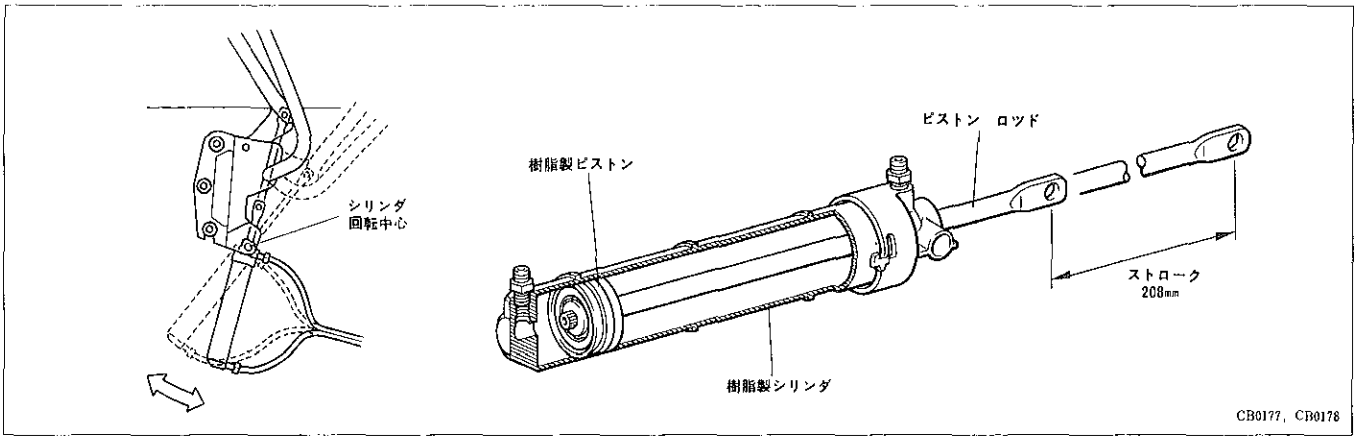


無断複製禁止

〔3〕油圧シリンダ

クオータ部左右に取り付けられており，油圧ポンプの圧力によりピストンを動かしピストン　ロツドが伸縮するとともにリンクの動きに従つて回転可能な構造となっています。

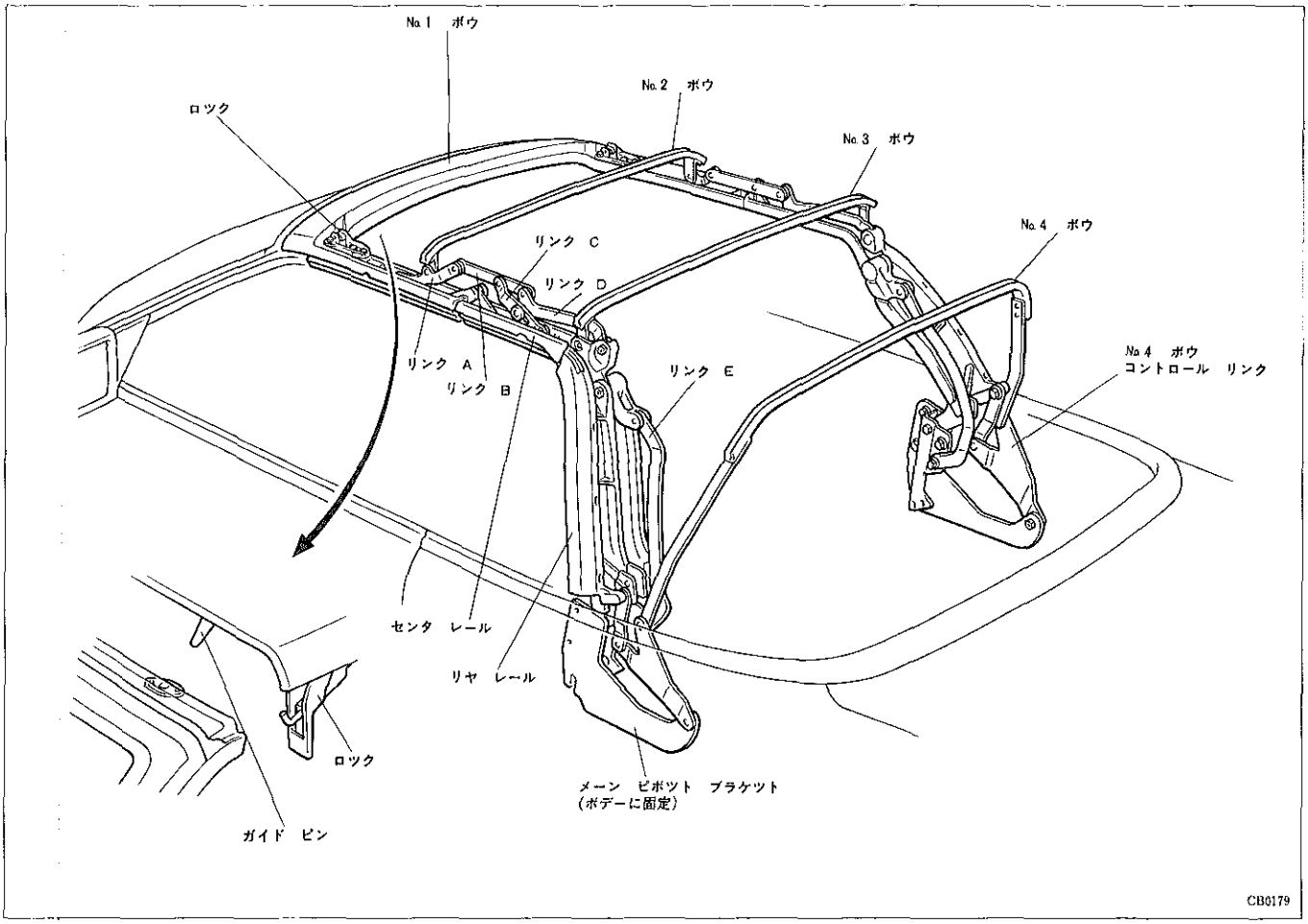
なお，樹脂製シリンダおよび樹脂製ピストンを採用した軽量タイプとしました。



〔4〕骨材　&　リンク機構

屋根部の剛性を確保するための3分割された骨材（No.1　ボウ，センタ　レールおよびリヤ　レール）と骨材の動きをコントロールするためのリンク機構および幌表皮を支える3本のはり（No.2　ボウ，No.3　ボウおよびNo.4　ボウ）により構成されています。

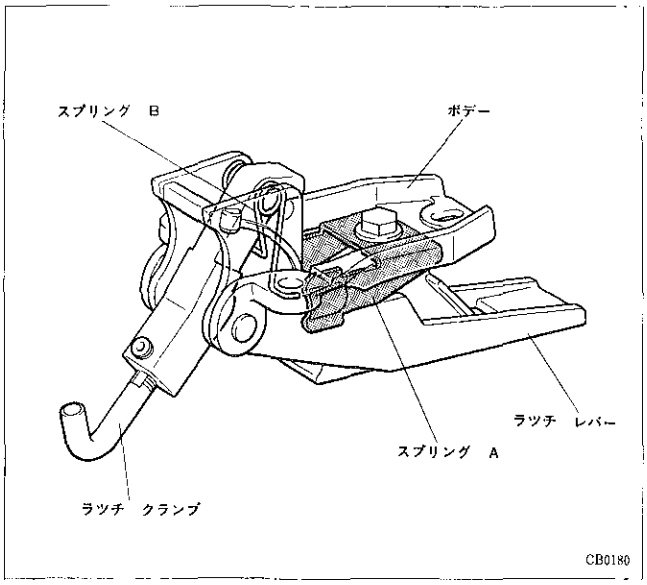
また，骨材前端にロツクおよびガイド　ピンを設けて骨材とヘツダ部を結合します。



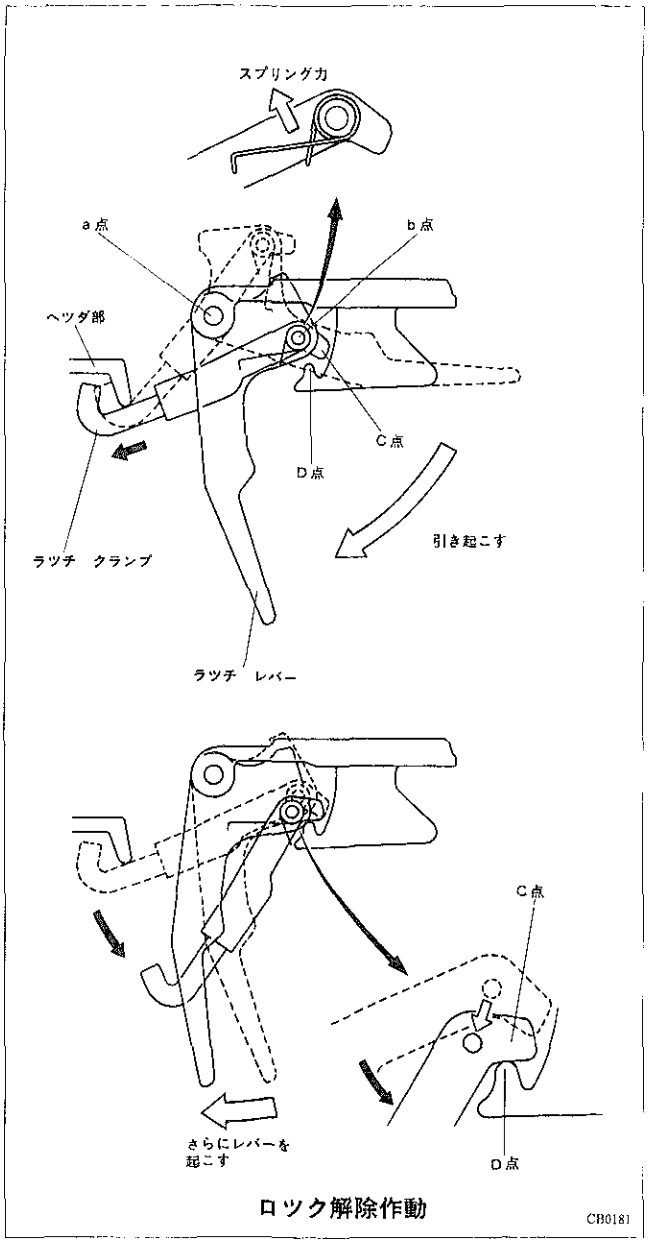
無断複製禁止

（1）ロツク

・フロント　ヘツダ部とかん合するラツチ　クランプ，ロツク，アン　ロツク操作を行うラツチ　レバー，ラツチ　レバーに節度感を持たすスプリング　A，ラツチ　クランプをヘツダ部にかん合させるスプリング　Bおよびボデーにより構成されています。
ラツチ　レバーを引き起こすとロツクを解除し，レバーを押し込むとロツクする構造となつています。



・ロツク解除作動は，ロツク状態からラツチ　レバーを引き起こすと，レバーはａ点を中心として回転するためラツチ　クランプはｂ点に押されてロツクを解除します。
なお，このときはラツチ　クランプにスプリング　Bの張力が作用しているため，クランプはヘツダ部に押し付けられています。
さらにレバーを起こすと，クランプのC部がボデーのD部に当たり，いつぱいまでレバーを起こすとスプリング　Bの張力に打ち勝ちクランプはレバー内へ格納されます。
・ロツク作動は，ロツク解除作動と逆の作動となり，ラツチ　レバーを押し込むことによりラツチ　クランプがヘツダ部に噛み合いロツクします。

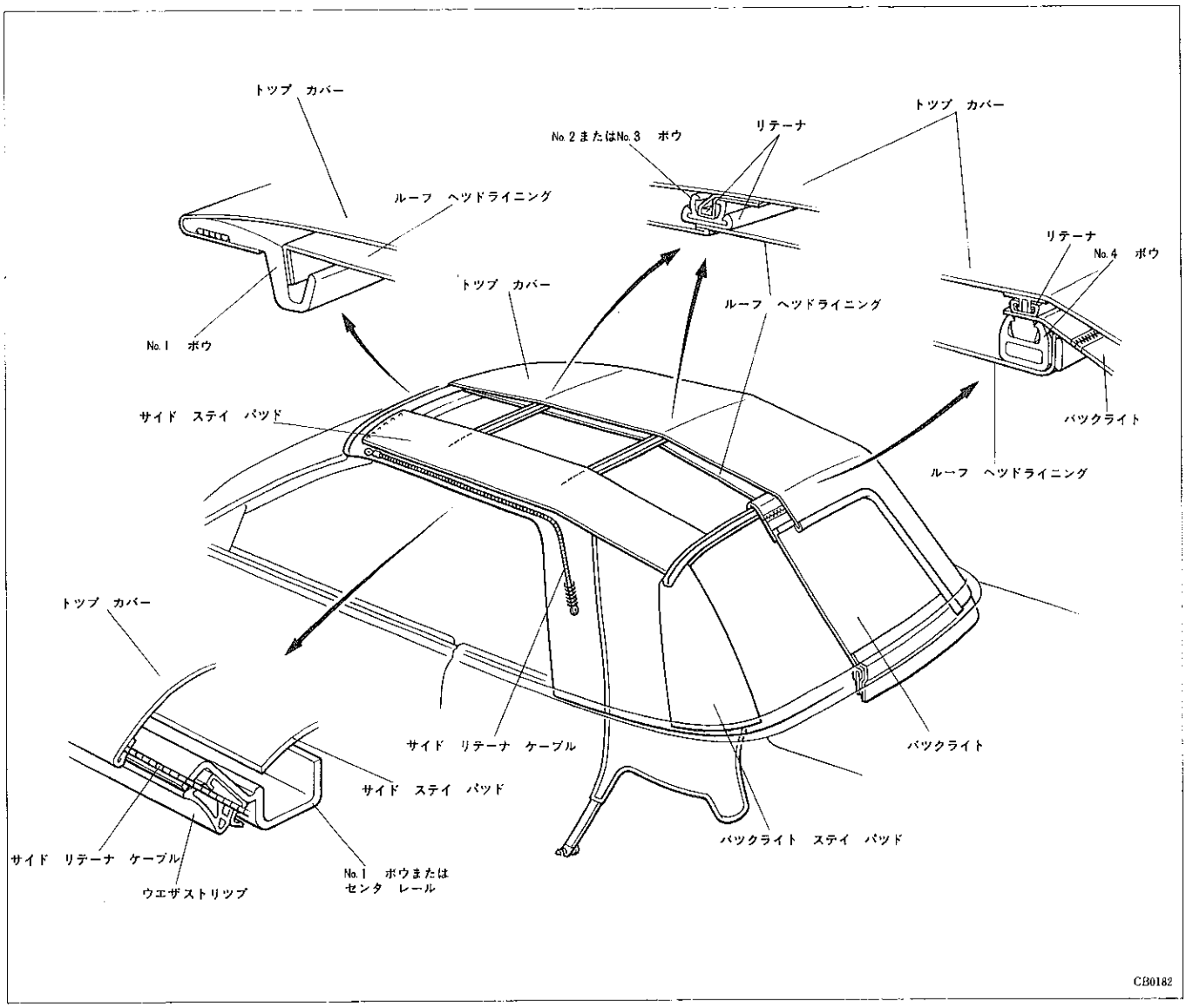


無断複製禁止

〔5〕幌　&　ルーフ　ヘツドライニング

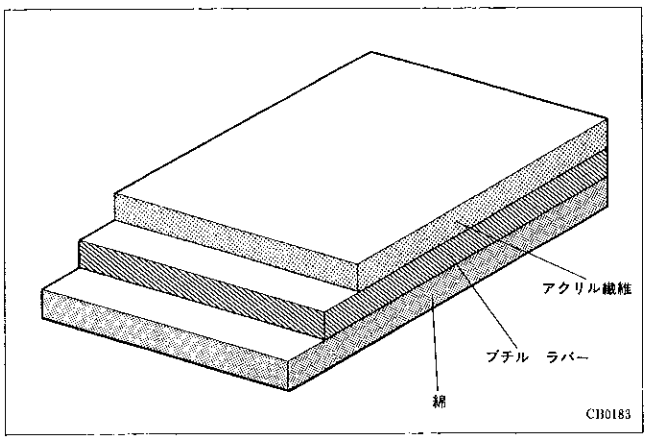
幌はフロント　ヘツダ部（No.1　ボウ）からリヤ　アツパ　バツク部にかけて3本のはりを渡して取り付けられており両サイド部には，はりを支えるサイドおよびバツクライト　ステイ　パツドおよび幌サイド部に張りを与えるサイド　リテーナ　ケーブルが設けられています。なお，幌の表皮（トツプ　カバー）にはキヤンブリアを採用しました。

また，幌の室内側にはルーフ　ヘツドライニング（フアブリツク）を設定しました。



（1）キヤンブリア表皮

アクリル繊維，ブチル　ラバーおよび綿の3層構造となつており，ブラツクに着色されています。

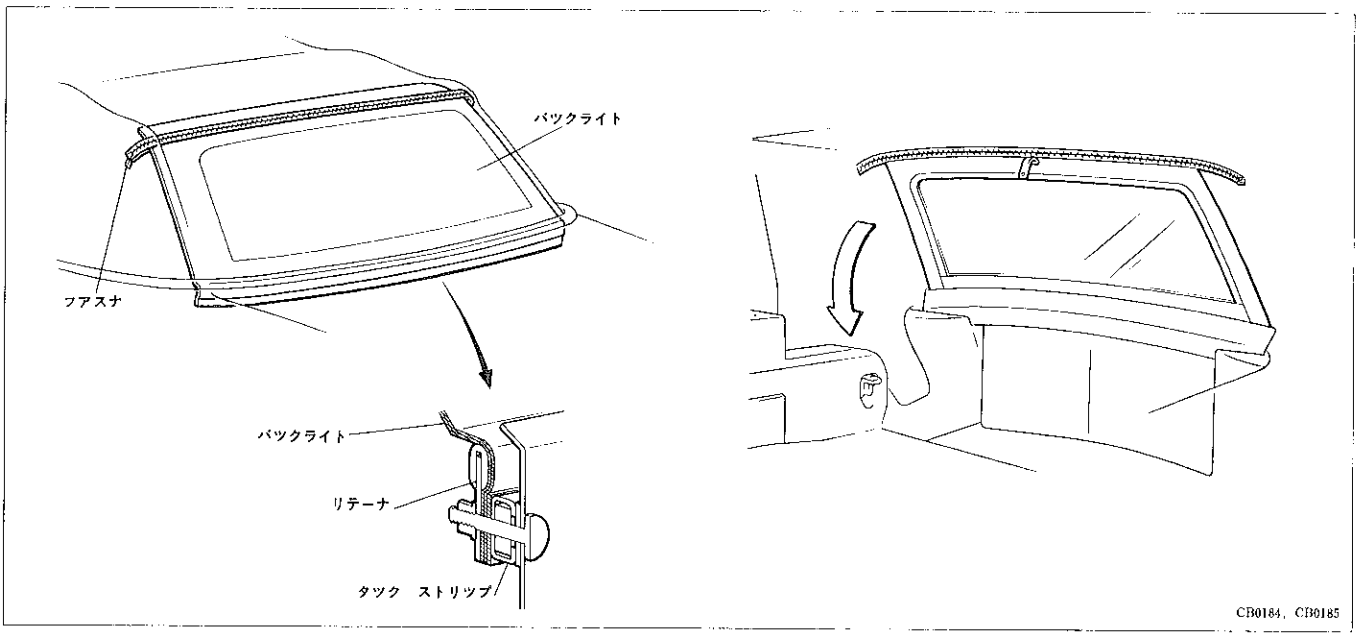


無断複製禁止

（2）バツクライト

リヤ　ウインドウと一体のバツクライトは，室内側より上部フアスナをはずすことにより開けることができます。

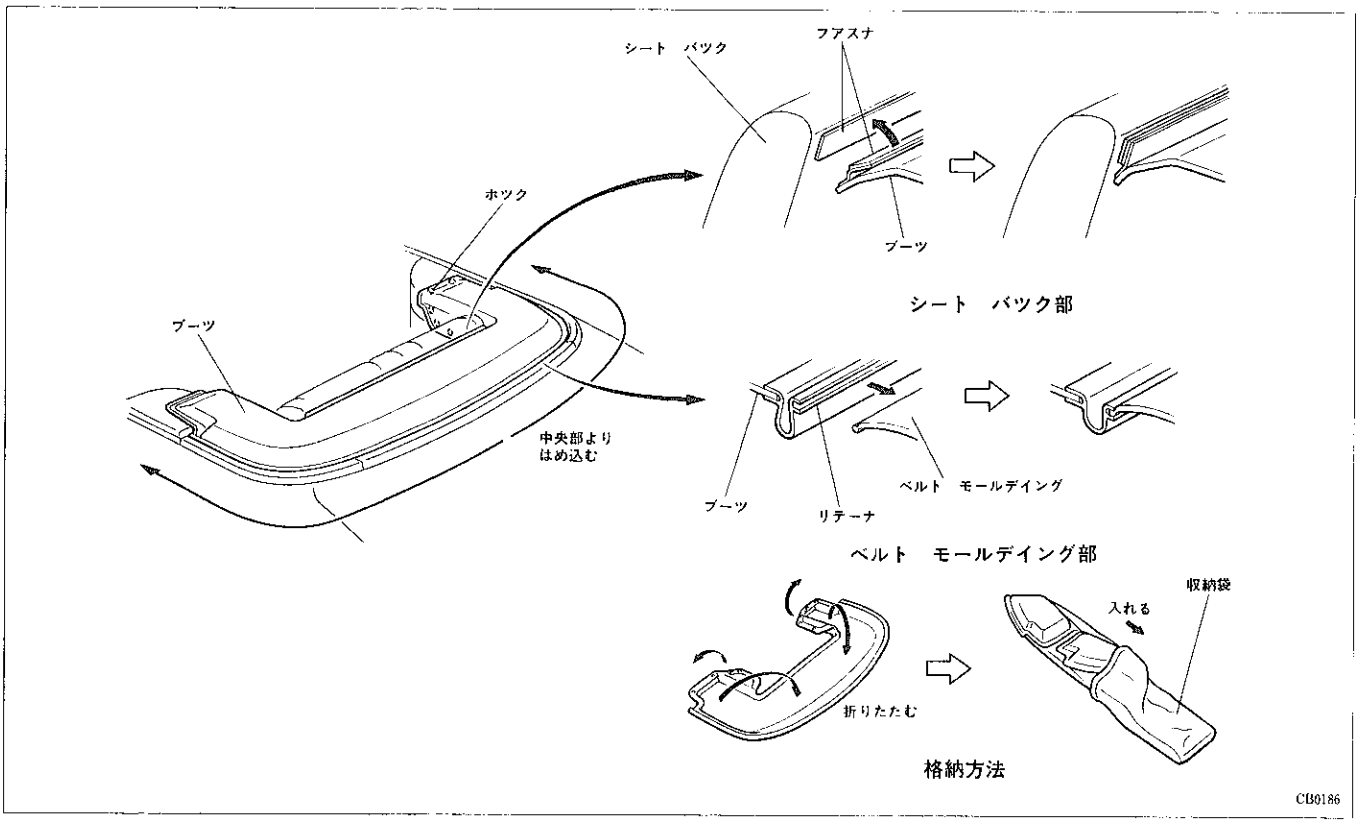
また，トツプ　カバーをはずすことなくバツクライトの脱着が可能な構造となつています。



〔6〕ブーツ（幌カバー）

幌を開けた後，ホツク，リテーナおよびフアスナで容易に取り付けることができる構造となつており，未使用時は収納袋に入れてラツゲージ　ルーム内に格納できます。

なお，取り付け時は，左右のホツク5箇所をはめる→リテーナをモールデイングにはめ込む→フアスナでシート　バツクに固定の順序で行います。



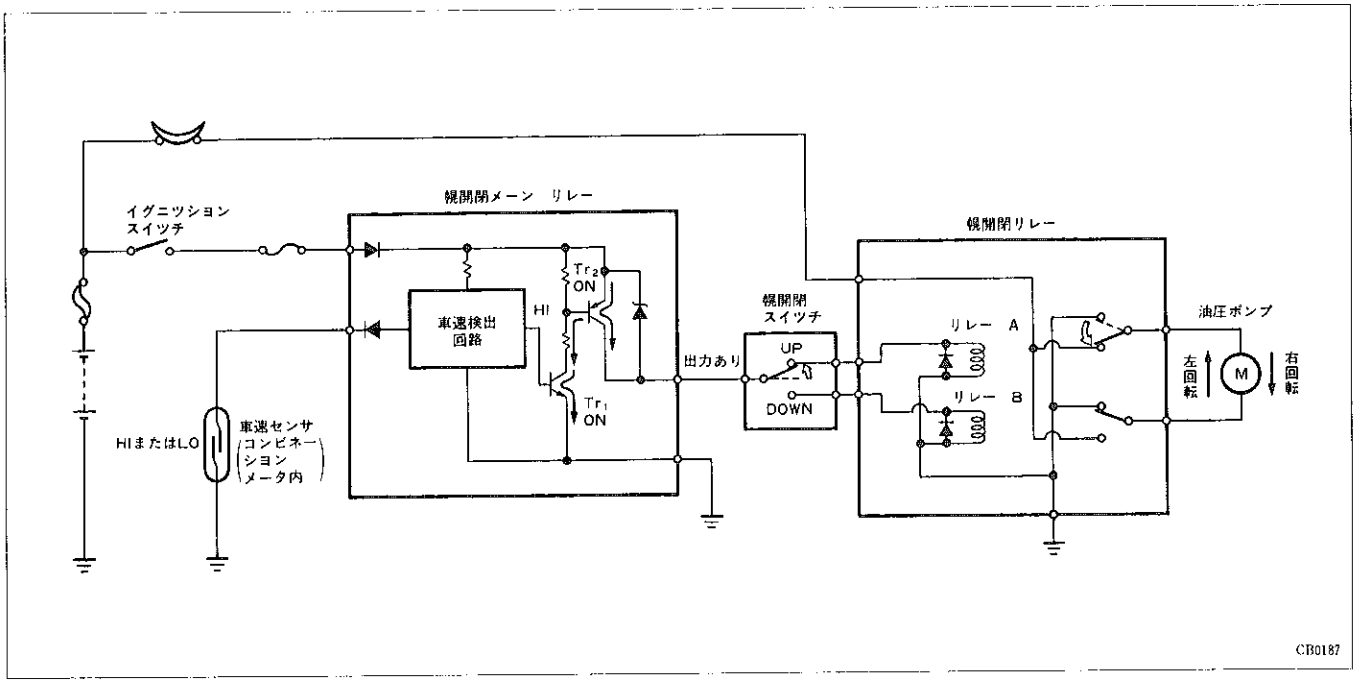
無断複製禁止

【2】作動

〔1〕油圧ポンプ制御作動

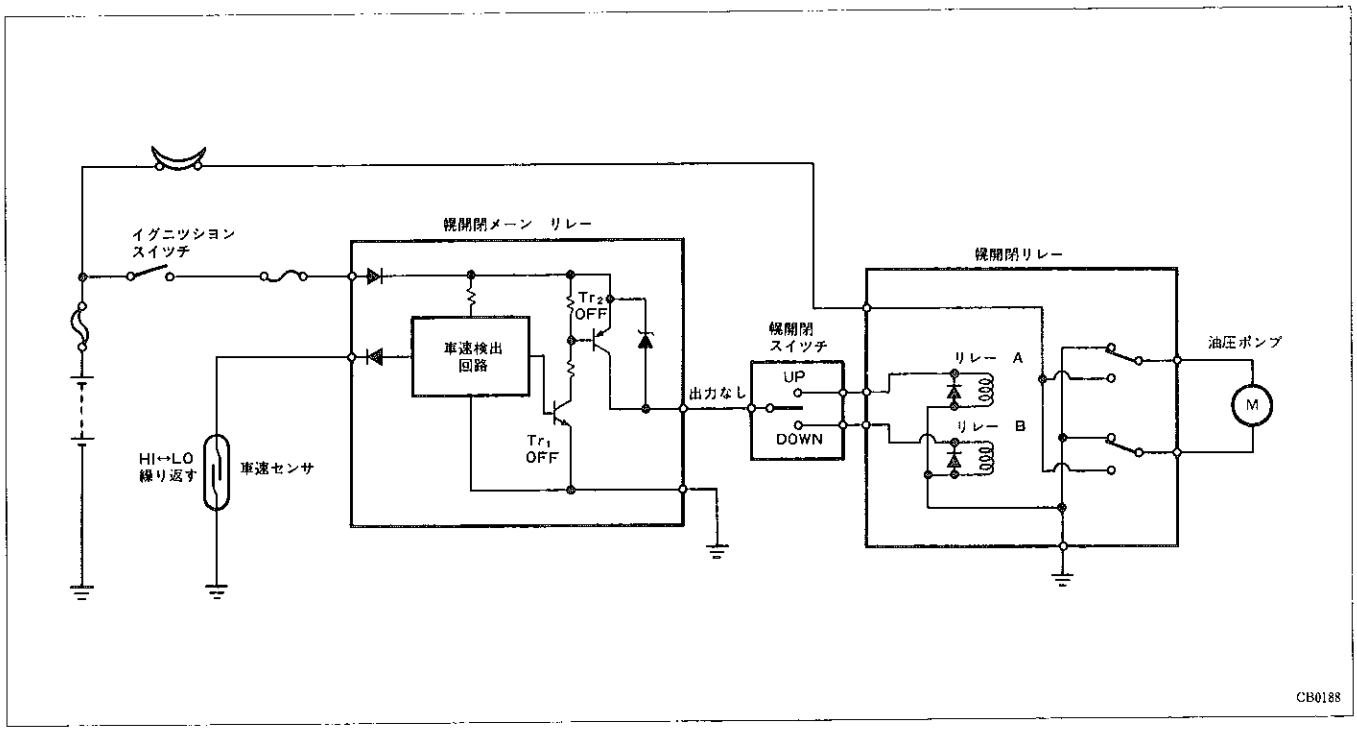
（1）停車時

車両停車時はコンビネーション　メータ内車速センサ出力がＨＩまたはＬＯで一定のため，幌開閉メーン　リレー内の車速検出回路はＨＩを出力し，Tr1，Tr2をＯＮして幌開閉スイツチへ出力します。このため，幌開閉スイツチをＵＰまたはＤＯＷＮ側へ操作すると，リレー　Ａまたはリレー　ＢがＯＮして油圧ポンプのモータが右または左回転します。



（2）走行時

車両走行時は車速センサ出力がＨＩ，ＬＯと変化するため，車速検出回路出力がＬＯとなります。このため，Tr1，Tr2はＯＦＦとなり幌開閉スイツチを操作してもリレー　Ａまたはリレー　ＢはＯＮせず，モータも回転しません。



無断複製禁止

〔２〕幌開閉作動

（１）幌開時

① ラツチ　レバーを引いてロツクを解除し，幌開閉スイツチのＤＯＷＮ側を押すと油圧ポンプが作動して油圧シリンダのピストン　ロツドが縮みます。（矢印①）

② ロツド先端は，リヤ　レールのｂ点を引くためリヤ　レールはａ点を支点として回転します。（矢印②）

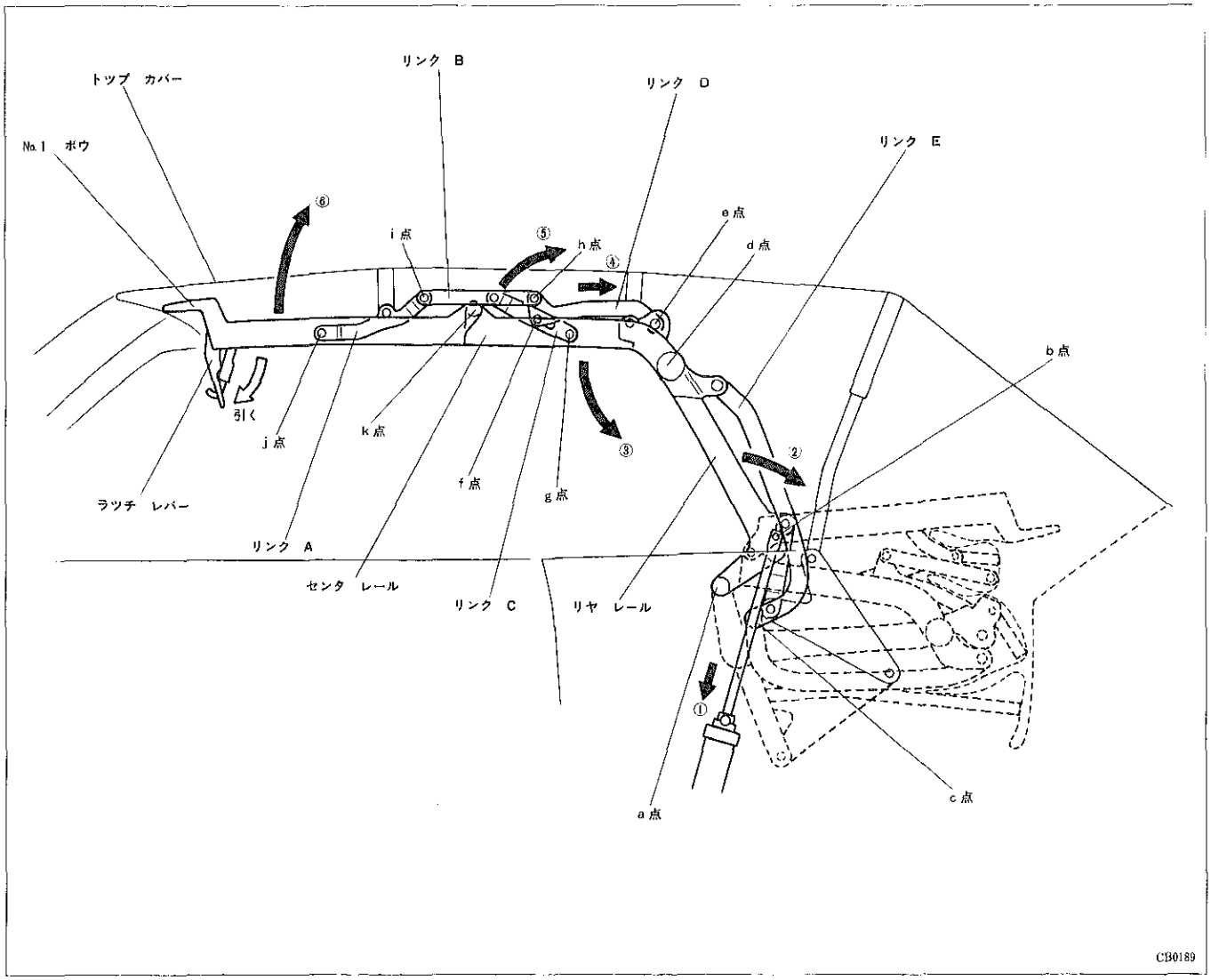
③ センタ　レールはリヤ　レールの回転に伴つて，ｃ点でボデーに取り付けられているリンク　Ｅに押されてｄ点を支点として回転します。（矢印③）

④ センタ　レールの回転により，リンク　Ｄはリヤ　レールにｅ点で引かれてリンク　Ｃの長穴部をｆ点で引きます。（矢印④）

⑤ リンク　Ｃはｇ点を支点として回転し，リンク　Ｂはｈ点を支点としてリンク　Ｃに動かされて回転します。（矢印⑤）

⑥ リンク　Ｂはｉ点でリンク　Ａを引くため，No.１　ボウはリンク　Ａにｊ点で引かれ，ｋ点を支点として回転します。（矢印⑥）

⑦ 以上のリンク作動により，幌開閉スイツチのＤＯＷＮ側を押し続けるとリヤ　シート後部に幌が格納されます。



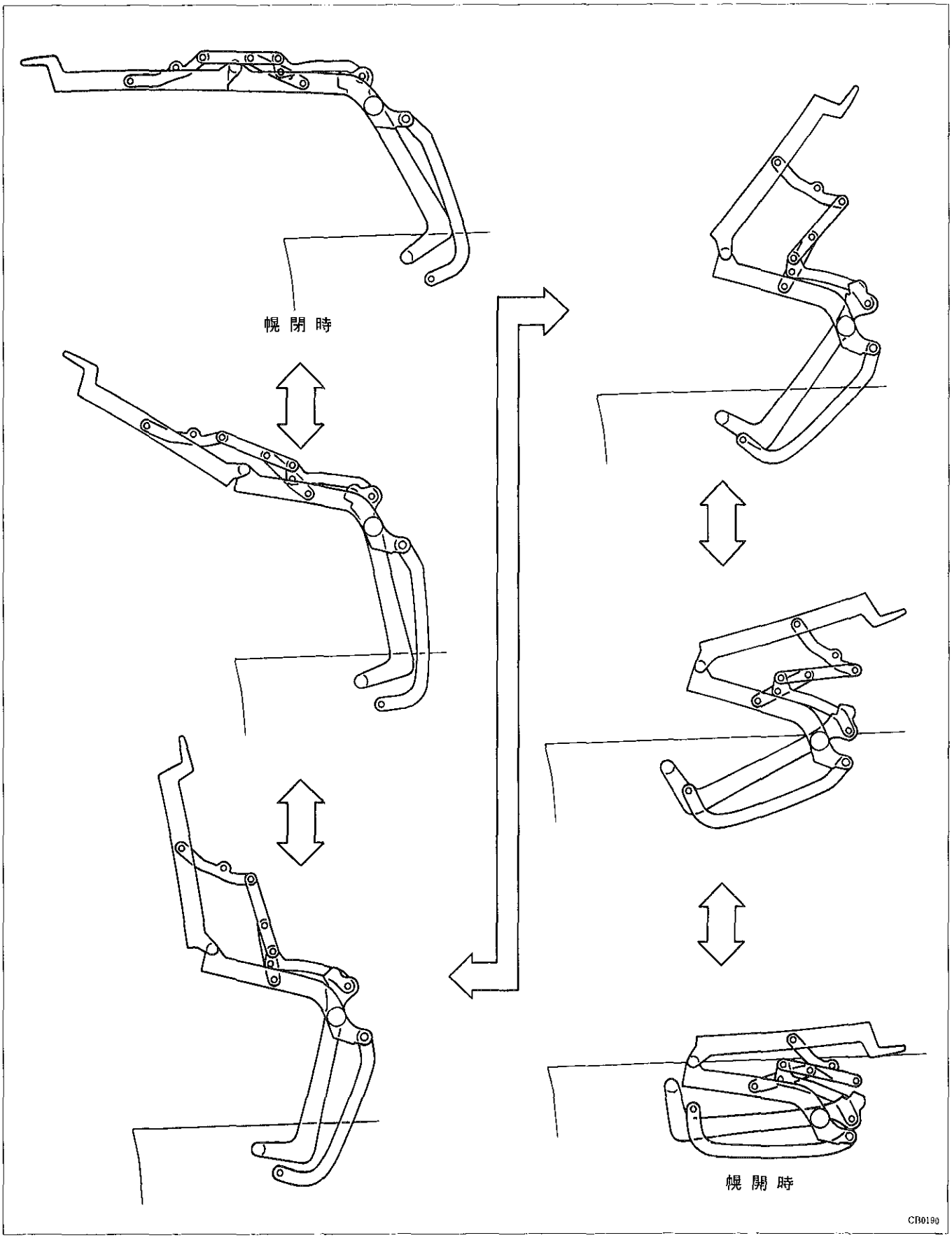
（２）幌閉時

幌開閉スイツチのＵＰ側を押すと油圧ポンプが作動して油圧シリンダのピストン　ロツドを伸ばし，幌開時と逆のリンク作動となり幌を閉じます。

無断複製禁止

（3）リンク作動状態

下図の様に各リンクは作動します。



無断複製禁止

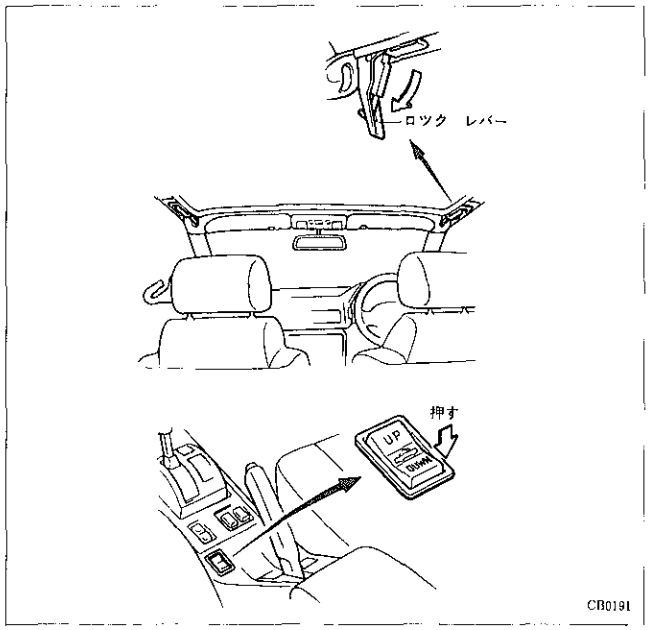
【3】操作方法＆注意

〔1〕操作方法

バツテリの消費を防止するため，エンジン回転状態で行います。

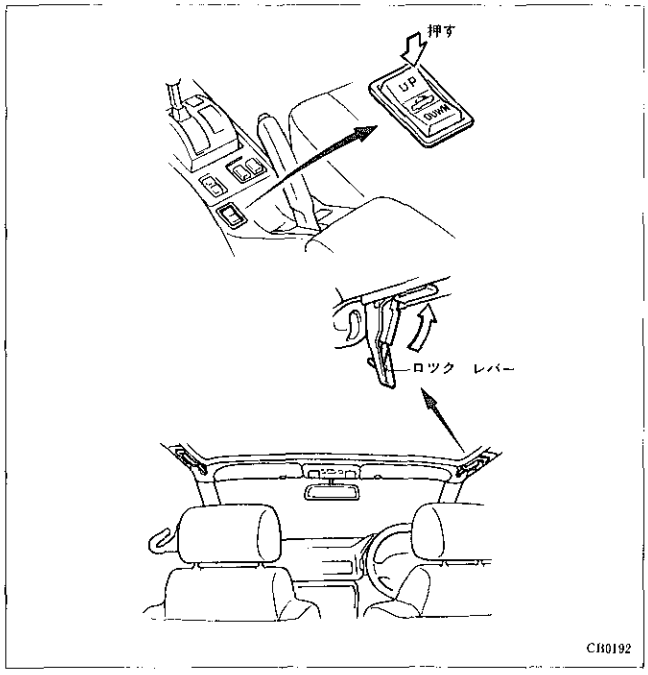
（1）幌の開け方

① クオータ　ウインドウをいつぱいに下げます。
② ロツク　レバーを引きロツクを解除します。
③ 幌開閉スイツチのＤＯＷＮ側を押し幌を開きます。
④ ロツク　レバーを倒します。
⑤ 幌カバーを取り付けます。（Ｐ１－14参照）



（2）幌の閉じ方

① クオータ　ウインドウをいつぱいに下げます。（クオータ　ウインドウが完全に下がつていない状態で幌を閉じると，クオータ　ウインドウがリヤ　レール　ウエザストリツプの溝にはいりません。）
② 幌カバーを取りはずします。
③ ロツク　レバーを起こします。
④ 幌開閉スイツチのＵＰ側を押し幌を閉じます。
⑤ ラツチ　クランプがヘツダ部に掛つていることを確認しながらロツク　レバーを倒します。



〔2〕注意事項

・幌の開閉作動中に，幌機構部や作動部付近へは絶対に手を入れないでください。
・開閉操作前に，幌およびリヤ　シート背もたれとトランクの間に物が置かれていないことを確認してください。
・幌を半開状態のままで走行することは絶対に行わないでください。
・気温が５℃以下のときは，幌の操作をしないでください。（幌表皮が硬化し，損傷する可能性があります。）
・幌が乾いているとき以外は，幌の操作をしないでください。（幌表面の水が車内に落ちる可能性があります。）
・自動洗車機は使用しないでください。（幌およびリヤ　ウインドウを破損する可能性があります。）
・リヤ　ウインドウが汚れているときに，幌を操作しないでください。（リヤ　ウインドウを損傷する可能性があります。）

無断複製禁止

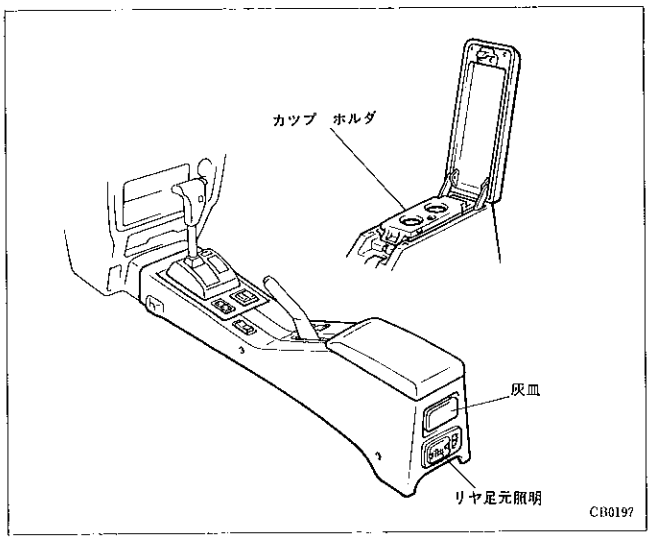
1・3 ボデー内装

■機構説明

□運転席パネル

1．コンソール　ボツクス

●使用性の優れたカツプ　ホルダ内蔵タイプのフタ付きフル　コンソールを採用するとともに，後部にリヤ席用足元照明を設定しました。



□シート

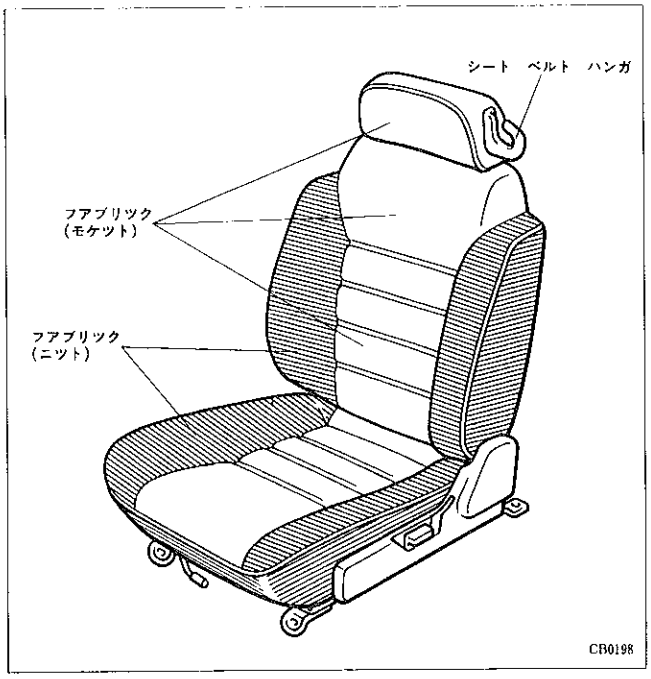
1．フロント　シート

●シート　ベルト　ハンガ付き専用ヘツドレストおよび専用シート表皮を採用した6ウエイ　ロー　バツク　シートとしました。なお，ヘツドレスト以外の構造と作動はリフトバツク車と同様です。

仕様

シート表皮	フアブリツク
シート形状	ロー　バツク　シート
ヘツドレスト	上下調節式
ランバ　サポート	メカニカル式（運転席のみ）
バーチカル　アジヤスタ	デユアル ハイト アジヤスタ(運転席のみ)
リクライニング機構	レバー式（2度×7段)*
シート　バツク　ポケツト	両側に設定

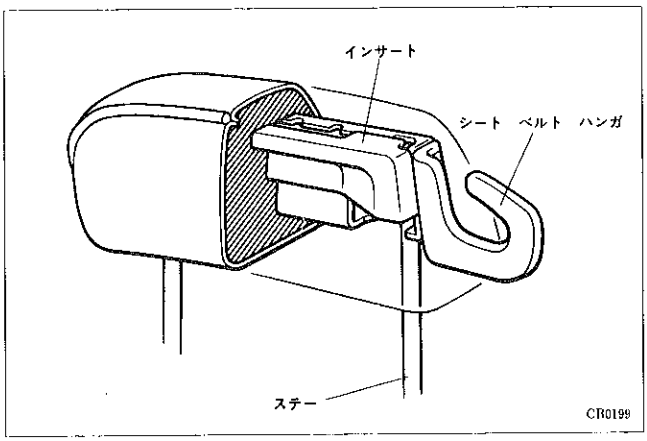
＊：リフトバツク車レバー式は2度×23段



▶構造と作動

【1】ヘツドレスト

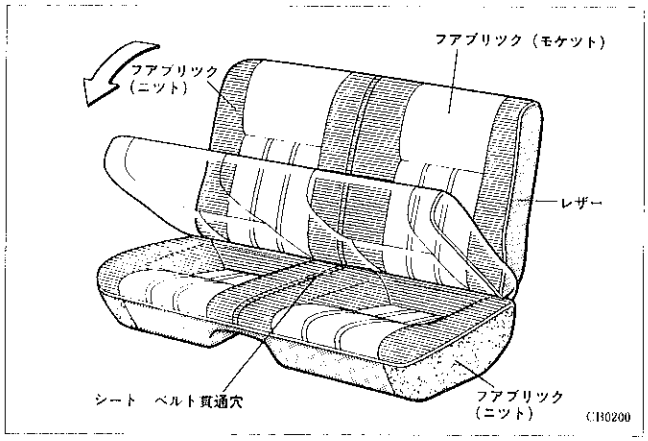
ステーと一体のインサートにシート　ベルト　ハンガを取り付けた構造となつています。



無断複製禁止

2．リヤ　シート

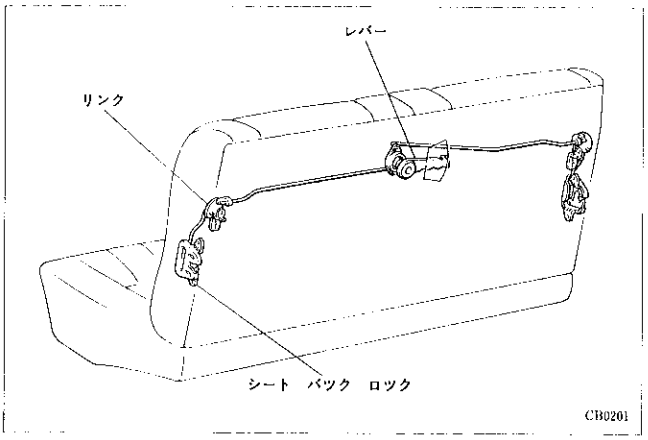
●コンバーチブル専用のシート　バツク一体可倒式を採用しました。



▶構造と作動

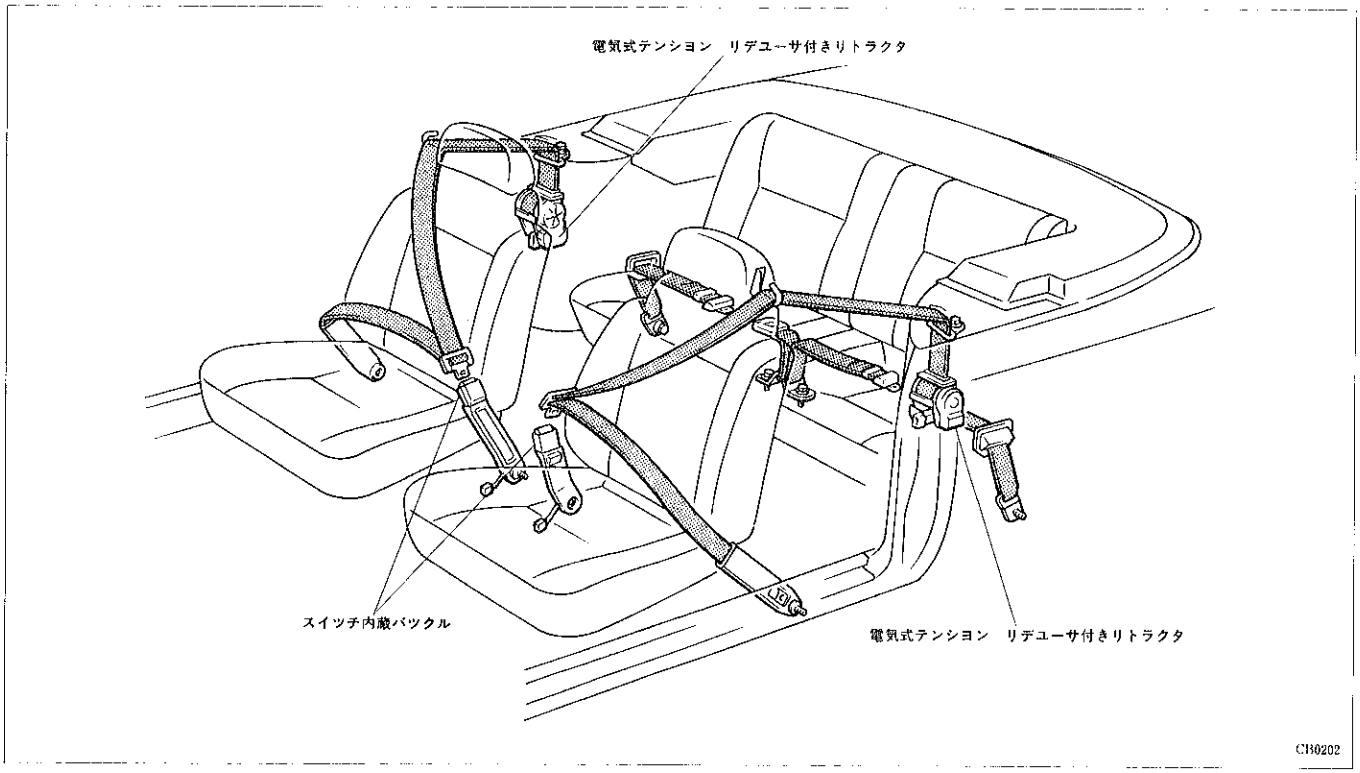
【1】シート　バツク　ロツク

バツク中央部裏側にレバーを設け，レバーを引くことによりリンクを介して左右のロツクを解除する構造としました。



3．シート　ベルト

●プレートをバツクルに差し込むことにより，リトラクタの巻き取りスプリング張力を弱める電気式テンシヨン　リデユーサをフロント　シート　ベルトに採用し，装着感の向上をはかりました。

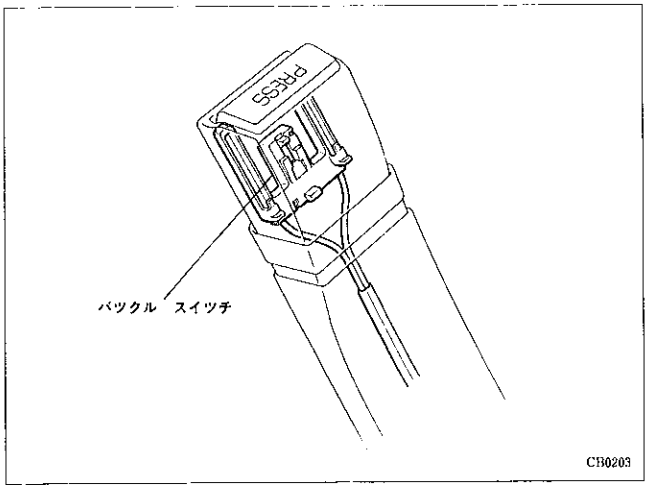


無断複製禁止

▶構造と作動

【1】フロント　シート　ベルト　バツクル

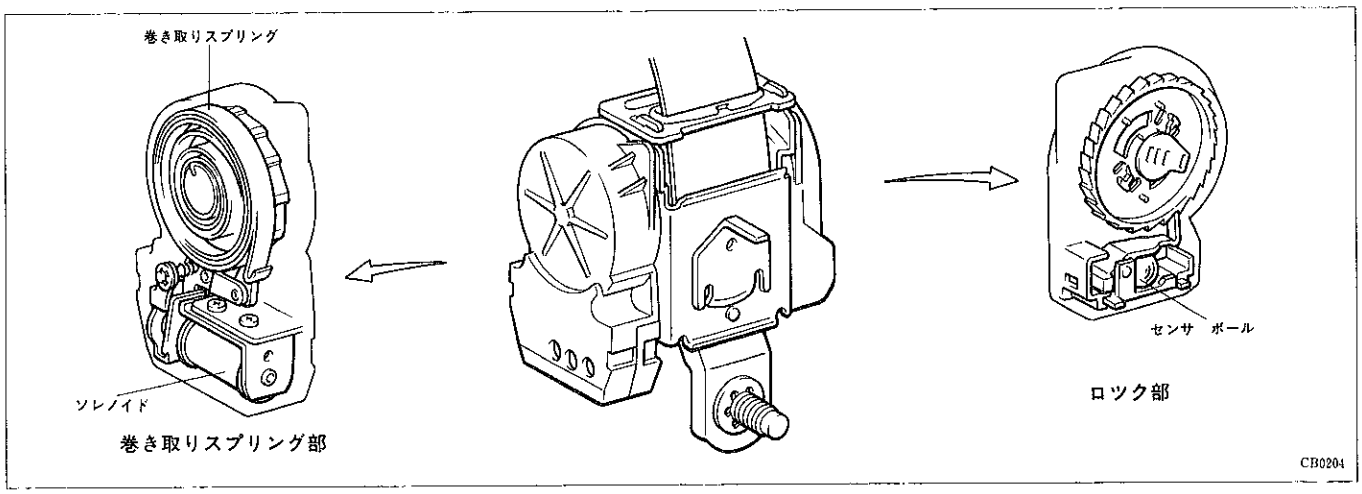
バツクル内にスイツチを組み込んだもので，プレートをバツクルに差し込むことによりスイツチがＯＮとなります。



【2】フロント　シート　ベルト　リトラクタ

リフトバツク車のドア連動式テンシヨン　リデユーサは，レバーにより巻き取りスプリングの張力を切り替えていますが，電気式ではバツクル　スイツチにより作動するソレノイドにより巻き取りスプリングの張力を切り替えるものです。

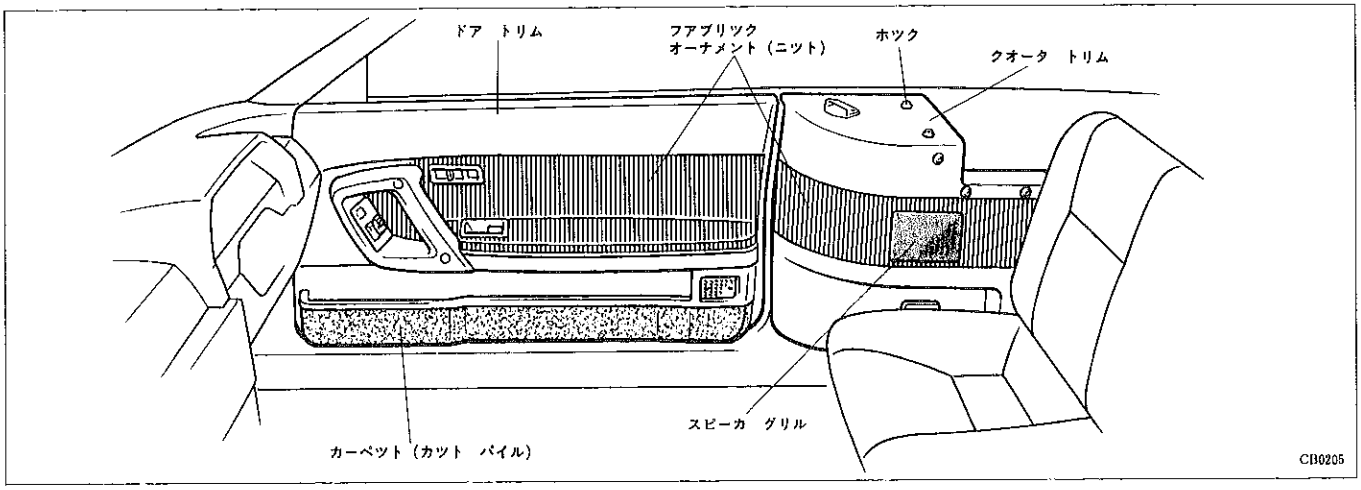
なお，ロツク部および巻き取りスプリング部の構造と作動はリフトバツク車と同様です。



□トリム　＆　ガーニツシユ

1．サイド回り

●ドア　トリムおよびクオータ　トリムにはフアブリツク　オーナメント付き成形トリムを採用しました。

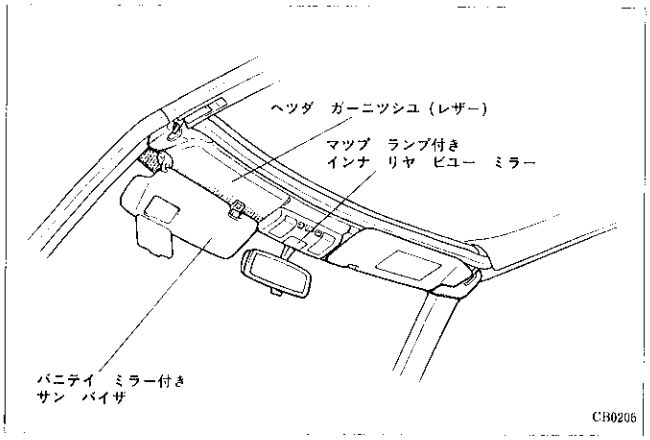


無断複製禁止

2．ルーフ回り

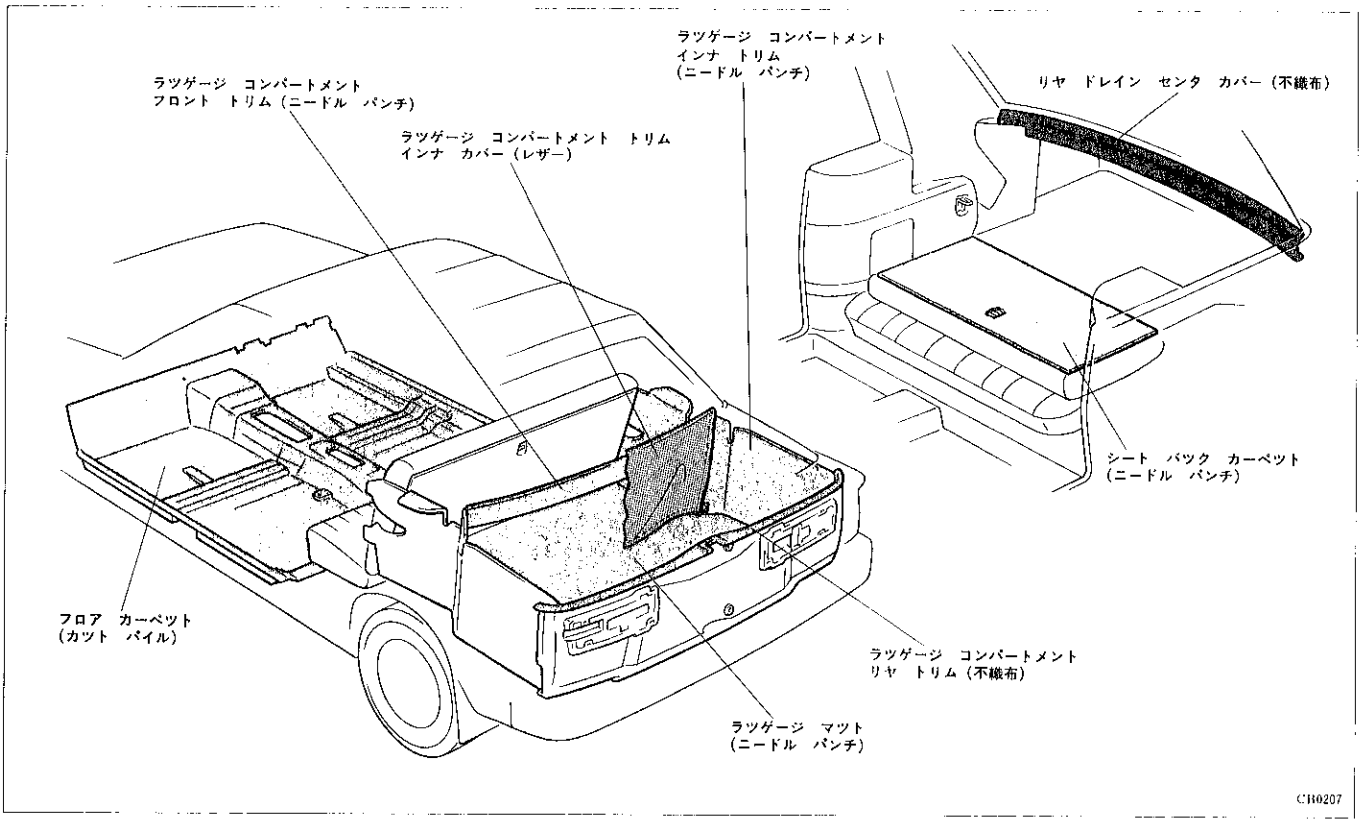
●フロント　ヘツダ部にヘツダ　ガーニツシユを設定するとともに専用形状のサン　バイザを設定しました。
なお，サン　バイザは左右共バニテイ　ミラー付きとしました。

●運転席側サン　バイザに注意ラベル（幌に関する注意および操作方法）を設定しました。



3．フロア　&　ラツゲージ回り

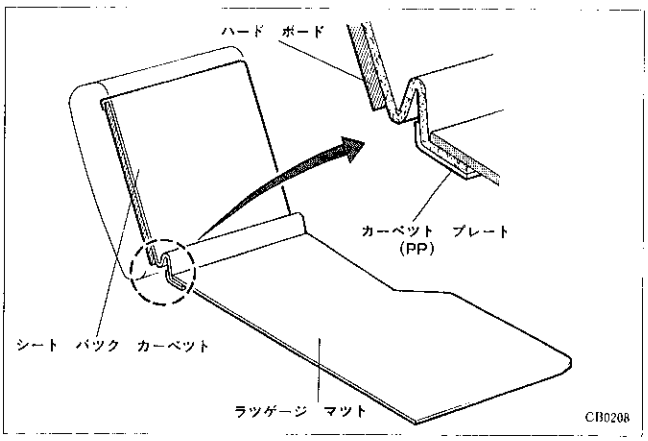
●ラツゲージ内をフル　トリム化し，品質感の優れたものとしました。



▶構造と作動

【1】シート　バツク　カーペツト

芯材にハード　ボードを採用した高密度ニードル　パンチカーペツトを採用し，下部をラツゲージ　マツトとラツプさせた外観品質の良い構造としました。



無断複製禁止